

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	産業界（企業等）			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として開催している公開講座。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界（企業等）			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校
4	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、県内企業が抱える業務運営上の課題解決に資することを目的とし、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」を開講している。各企業での実習後、参加学生、受入企業、大学関係者が参集し「成果報告会」を開催する。
5	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」（全15回）を開講している。関連講義、フィールドワーク、グループワークを経て、学生たちが検討したまちづくりの具体案を最終講義で発表する。「R3年度コロナにより中止」
6	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			アトレ浦和店と連携し、平成29年度から「課題解決型インターンシップ」（全8回）として開講し、平成30年度から「課題解決型プログラム」と名称を変更した。フィールドワークや取材を通して、浦和を中心とした地域の魅力づくりや活性化のための提案をまとめ、最終講義で発表する。また、その内容はアトレ浦和情報誌「U LaLa」に掲載される。「R3年度コロナにより中止」
7	埼玉大学	課題解決型プログラム	平成29年度	産業界（企業等）			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的とし、平成29年度から「課題解決型プログラム」（全16回）として開講している。各企業が提示する課題に対してグループごとに解決策を考案し、発表する。
8	埼玉大学	地域志向科目（地域創生を考えるa、地域創生を考えるb）の実施	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講している。
9	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体（行政）			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
10	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体（行政）			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和3年度は埼玉県立歴史と民俗の博物館との共催により、「日本の実業家と文化事業・社会事業 渋沢栄一とその時代」をテーマに全4回の講座を開催した。
11	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体（行政）			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和3年度は「変化を続ける経済社会とその今日的課題」をテーマに全8回開講した。ただし、新型コロナウイルス感染症対策として募集人数を40名に縮小して行った。
12	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体（行政）			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として募集人数を縮小して全4回開講した。
13	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体（行政）			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
14	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
15	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 定員50名 ・コロナ禍により令和3度は中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
16	埼玉県立大学	りそなキッズマネーアカデミー	平成23年度	産業界（企業等）			埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催する。 小学3年生～4年生 定員20名 ・コロナ禍により令和3年度は中止となった。
17	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体（行政）			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方 定員150名 ・コロナ禍により令和3年度は中止となった。
18	埼玉県立大学	見えないチカラを伸ばし夢をつかむリアル体験事業	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 【埼玉県立大学コース】小学4年生～6年生 定員各15名 ・3月20日（土） 【第1回】10:00～12:00 【第2回】13:30～15:30「看護師になりたい」 看護学科 鈴木康美教授他 ・コロナ禍により令和3年度は中止となった。
19	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ “ハートフルコラボレーション”	平成25年度	産業界（企業等）			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者が対象 ・コロナ禍により令和3年度は中止となった。
20	埼玉県立大学	高校等出張講座	平成15年度	中・高等学校			高等学校等の依頼に基づき、教員を派遣する。
21	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体（行政）			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」を開講している。
22	跡見学園女子大学	にいざプラスカレッジ (旧：新座市民総合大学)	平成12年度	自治体（行政）	大学・短大 (大学・短大間連携)		新座市内にある3大学（十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学）がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。→令和3年度は中止
23	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。 対面に加えて、オンライン形式でも実施している。
24	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある16の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもの。生涯学習、地域社会への貢献を目的として、加盟大学のうち11大学により年に一度、各大学が協力をして公開講座を行っている。→令和3年度は中止
25	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
26	跡見学園女子大学	アカデミック・インターンシップ	平成15年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	インターンシップは、マネジメント学部の2年次必修科目である。講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 令和3年度には、県内16箇所（企業5、公益財団法人4、特定非営利活動法人2、社会福祉協議会2、自治体1、その他2）で実習が行われた。
27	跡見学園女子大学	基礎ゼミナール（学外実習）でのインターンシップ	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体・非営利団体 (商工会、社会福祉協議会、自治会、NPO等)	講義で学んでいる観光デザインやコミュニティデザインの知識、理論を、企業や自治体、NPOなどの非営利機関における就業体験や社会体験、または特定のテーマに基づく調査活動等を通して具体的・実感的に検証する。 これにより観光デザイン・コミュニティデザイン能力の基礎力を高めるとともに、後期課程での学習の方向性を明確にさせ、研究課題の発見につなげることを目的としている。調査活動では、実習先から与えられたテーマや学生自らの問題意識に基づくテーマで調査を行い、具体的提言を行っている。
28	跡見学園女子大学	ATOMIインターンシップ	平成10年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		就職課主催の就業体験としてのインターンシップ（単位認定外）。学生が自己責任に基づいて納得できる就職をするために、早期離職や無目的なフリーターをしないために、しっかりとした職業意識を涵養し、職業観を育成する。加えて、実務経験を通して、人生設計の手がかりを探る機会を与えることを目的としている。令和3年度は受け入れ先23社中3社が埼玉県内企業。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
29	跡見学園女子大学	社会人インタビュー	令和元年度	産業界（企業等）			令和元年度に参画した埼玉県補助事業（大学生のための県内魅力発見事業）「社会人インタビュー」以降も、その範囲を首都圏に拡大し、就職課主催で毎年実施している。就職活動に向けて、学生が低学年のうちから自らの進路を考え、自身が働く姿を具体的にイメージできるように低学年（1, 2年生）を対象とし、学生自らインタビューに向けて企業研究および業界研究を実践することで、主体性を身につけさせ、社会人としての働き方や仕事内容について理解を深められるようにすることを目的としている。令和3年度 埼玉県内企業2社へのインタビューを実施。
30	跡見学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・18自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、就活支援、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。
31	浦和大学・浦和大学短期大学部	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
32	浦和大学・浦和大学短期大学部	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼して。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
33	浦和大学・浦和大学短期大学部	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
34	浦和大学・浦和大学短期大学部	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			R3年度コロナにより中止
35	浦和大学・浦和大学短期大学部	「イノセンスアート」授業における障がい児との交流	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			R3年度コロナにより中止
36	浦和大学・浦和大学短期大学部	親支援講座の開設	平成20年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			R3年度コロナにより中止
37	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテータ養成講座	平成20年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		R3年度コロナにより中止
38	浦和大学・浦和大学短期大学部	大学によるリカレント教育（開放授業講座）	平成20年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
39	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市民大学への協力	平成23年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
40	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体（行政）			さいたま市内でこども学部を有する唯一の私立大学であることから、本学教員はさいたま市の保育園の巡回相談への協力、さいたま市の各種委員会における委員長・委員への就任、各種行事への学部への協力を行っている。イベント開催時等には学生が地域活動を通じて学ぶ機会となっている。
41	浦和大学・浦和大学短期大学部	「北浦和ふれあいまつり」への参加・協力	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		R3年度コロナにより中止
42	浦和大学・浦和大学短期大学部	浦和大学公開講座	平成26年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
43	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま国際マラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体（行政）			開催がなかった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
44	浦和大学・浦和大学短期大学部	見沼ソーシャルファーム懇談会	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			オンラインにて開催された。 4月、「美園地区の過去・現在・未来」講師 青木 義 脩 氏 6月、「会社という形態で見沼たんぼ保全の継続を目指す」 サカール 祥子 氏 「私と環境、農業、見沼、そしてソーシャルファーム」 米谷 仁 氏 それぞれの会では、講演の後質疑が行われ、また会員による協議が行われた。
45	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成28年度	その他	その他		R3年度コロナにより中止
46	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「地域の介護力を高める福祉機器」	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		R3年度コロナにより中止
47	浦和大学・浦和大学短期大学部	健康体操教室	平成28年度	その他			リモートにて実施した（期間を定め、その間自由に参加できる形で実施）。
48	浦和大学・浦和大学短期大学部	こども学部インターンシップ	平成29年度	産業界（企業等）			企業等における就労体験（インターンシップ）を通して、就職への意識を高めるとともに職場の現状や職業観を養う。本学学生は保育所や幼稚園、福祉施設への就労希望が多く、社会人としての基本姿勢やマナー、職場規律、上司や同僚等へのコミュニケーションを体得するのにインターンシップは有効であると考えられる。なお、実習先については、地元産業界（企業等）を中心に依頼した。
49	浦和大学・浦和大学短期大学部	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	R3年度コロナにより中止
50	浦和大学・浦和大学短期大学部	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1・2・3年生が、アスタントティーチャー(2・3年生)、チャレンジスクール(1・2年生)、学校の放課後活動支援に出向いている。
51	浦和大学・浦和大学短期大学部	イオンモール川口 2017 夏 休み自由研究お助け隊	平成29年度	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等		R3年度コロナにより中止
52	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテーター養成講座	平成29年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
53	浦和大学・浦和大学短期大学部	音楽のレシピ	平成29年度	その他			R3年度コロナにより中止
54	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
55	浦和大学・浦和大学短期大学部	第1回カワコレ「GOLD FASHION」	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R3年度コロナにより中止
56	浦和大学・浦和大学短期大学部	「紙芝居 はじめの一步」	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			R3年度コロナにより中止
57	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「「介護ロボット・福祉機器展-人にやさしい福祉機器の可能性-」	平成29年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		R3年度コロナにより中止
58	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成29年度	その他	その他		R3年度コロナにより中止
59	浦和大学・浦和大学短期大学部	第3回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		R3年度は、ソーシャルディスタンス美園花火として開催された花火大会に協賛した（2021年11月3日実施）。
60	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	その他		R3年度コロナにより中止
61	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問（学友会サークル マジック同好会）	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
62	浦和大学・浦和大学短期大学部	川口市立飯仲小学校「いいなかフェス」	平成30年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
63	浦和大学・浦和大学短期大学部	子どもがつくるまち「第2回ミニ緑区」	平成30年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		R3年度コロナにより中止
64	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協議会設置事業	平成30年度	産業界（企業等）	その他		R3年度コロナにより中止
65	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「尊厳のあるケアの可能性」	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		R3年度コロナにより中止
66	浦和大学・浦和大学短期大学部	本学の3ポリシーとそれに基づく教育に対する助言	令和元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	その他		R3年度コロナにより中止
67	浦和大学・浦和大学短期大学部	埼玉県オリパラ月間イベントin戸田	令和元年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
68	浦和大学・浦和大学短期大学部	「遠隔で結ぶチャレンジランキング大会」	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			R3年度コロナにより中止
69	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 1日目【はてな学】人とともに進化するAI～人工知能で未来を体験しよう～ 2日目【生き方学・ふるさと学】どんな未来がきても大丈夫！～自らの力で未来を切り拓こう～ 3日目【生き方学】みんなで楽しむパラスポーツ体験～パラスポーツの魅力～
70	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体（行政）			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上を資することを目的として、全3回開講する公開講座。（令和3年度は新型コロナウイルス対策により2回の実施。） 本年度の実施内容は以下のとおり。 「日本の四季と音楽を味わおう～小学校の教科書で歌い継がれる日本の歌を中心に～」 「健康とSDGs」
71	共栄大学	HAPPYNEW卓球YEARフェス	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		産学連携協定を締結している卓球のプロスポーツクラブのT.T彩たま、包括的協定締結の春日部市と連携し、学生が主体となりスポーツイベントの企画、当日のイベント運営を実践 【当日実施内容】 ・T.T彩たまエキシビジョンマッチ、凧作り体験、卓球体験（屋外卓球、ミニゲーム） ・T.T彩たま、共栄大学、春日部市コラボレーション商品（水筒、ナップサック、携帯ストラップ、ボールペン）の販売 ・かすかべフードセレクションの販売（協力：菓匠ちぐさ、ダルトワ）
72	埼玉医科大学	「埼玉医科大学市民公開講座」	平成17年度	自治体（行政）			身近な病気的话题を取り上げ、広く一般の方を対象とした公開講座。埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 【詳細】 令和3年11月13日 テーマ『がんは早くみつければ治る ～コロナ禍でも検診に行こう～』 令和4年3月5日 テーマ『アレルギー』
73	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
74	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体（行政）			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣
75	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
76	埼玉医科大学	オンライン彩の国ビジネスアリーナ（産学連携）	平成27年度	産業界（企業等）			埼玉県産業振興公社等が主催した展示会にオンライン出展し、ニーズマッチング会やリサーチパークの紹介を紙面にて行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
77	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・ 介護予防効果測定・普及啓発事業委託業務への取組 ・ メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・ 日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 ・ 自殺対策推進連絡会委員として本学職員の派遣 ・ 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
78	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	産業界（企業等）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（丸広百貨店エンジョイ大学セミナー（年4回開催）講師として本学教員の派遣等）を一時休止中
79	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	産業界（企業等）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた本学学生を対象に生活物資の提供支援
80	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学臨地実習生の受入れ ・ メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・ 地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・ 市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣 ・ 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
81	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界（企業等）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
82	埼玉医科大学	越生町との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり検診への医師等の派遣 ・ 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
83	埼玉医科大学	埼玉大学との連携協定	令和2年度	その他			<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同研究
84	埼玉工業大学	心理学セミナー		自治体（行政）			<p>バラエティーに富んだテーマで心理学の世界を講座として用意し、地元をはじめとした一般の方へ開講。</p> <p>臨床心理学に関する心理学セミナー</p> <p>【令和3年度】6/5, 7/3, 9/4, 10/2（オンライン開催）</p>
85	埼玉工業大学	心理相談室		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人たちにに対し専門家（臨床心理士）・大学院生による心理的援助を行う。</p> <p>子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。（予約制）</p>
86	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体（行政）			<p>「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人がつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。</p> <p>【令和3年度】9/11（オンライン開催）</p>
87	埼玉工業大学	公開講座	平成12年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		<p>教育・研究成果を地域社会に還元し、学びの場を提供することを目的に開講。</p> <p>【令和3年度】6/5、6/12、6/19、6/26（オンライン開催）</p>
88	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>小学校、中学校、高校及び一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況を発表する。</p> <p>【令和3年度】10/7～10/10（オンライン開催）</p>
89	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大（大学・短大間連携）	<p>深谷市・深谷青年会議所等と協同で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で開催中止。</p>
90	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。</p>
91	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			<p>大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。</p>
92	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			<p>本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。</p>
93	埼玉工業大学	インターンシップ推進事業		幼保・小・中・高等学校等			<p>埼玉県のインターンシップ推進事業の受入先として、県内高校生のインターンシップ受け入れを行っている。</p> <p>【令和3年度】新型コロナウイルスの影響で中止</p>
94	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第1回講演会		産業界（企業等）			<p>研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。</p> <p>講演タイトル「経済活動におけるAI技術の活用と本学のAI人材育成の取り組み」</p> <p>【令3年度】6/7（オンライン開催）</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
95	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第2回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。 講演タイトル「失敗事例から学ぶ地域活性化と販売手法」 【令和3年度】9/7（オンライン開催）
96	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第3回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催。 講演タイトル「DX時代を生き抜くためのIT人材スキル」 【令和3年度】12/10（オンライン開催）
97	埼玉工業大学	渋沢栄一論語の里循&自動運転バス走行体験ツアー		産業界（企業等）	自治体（行政）		深谷観光バスとの連携でツアーを開催 【令和3年度】2022年1/22, 2/2, 2/3, 2/9, 2/20, 2/24
98	埼玉工業大学	さいしんビジネスフェア（産学連携）		産業界（企業等）			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介 さいしんビジネスフェア2021へ出展 【令和3年度】5/10～6/30（オンライン開催）
99	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ2022		産業界（企業等）			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介 彩の国ビジネスアリーナ2022へ出展 【令和3年度】2022年1月25日～2月14日（オンライン開催）
100	埼玉工業大学	埼玉県産業振興公社シーズンマッチング会 オンライン出展		産業界（企業等）			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介 埼玉県産業振興公社シーズンマッチング会へ出展 【令和3年度】2022年3月15日～3月24日（オンライン開催）
101	埼玉工業大学	地域連携事業（1）		自治体（行政）	産業界（企業等）		JR高崎線 岡部駅「おかべ希望が岡公園イルミネーション2021」 【令和3年度】設置12月1日～2022年1月31日
102	芝浦工業大学	オンライン埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、3月開催の本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘をオンラインで実施。（R3年度）
103	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施。（R3年度）
104	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイピング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。（R3年度）
105	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体（行政）			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。（R3年度）
106	芝浦工業大学	さいたま市シニア向け運動教室	平成27年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	例年は大学の運動施設を生かして大学近隣のシニア向け運動教室を実施しているが、今年度もオンラインで実施。（R3年度）
107	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（システム工学特別演習をオンラインで実施）。（R3年度）
108	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ネットワーク会議の開催ができなかったため、県内企業を対象に研究シーズ紹介等をオンラインで実施。（R3年度）
109	芝浦工業大学	さいたま市主催 大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		「MaaSを想定したコネクティッドバスシステムの実現可能性調査」で採択を受け、地域活性化活動を実施。（R3年度）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
110	芝浦工業大学	(一社) さいしんコラボ産学官主催 中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会	平成30年度	産業界 (企業等)			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から1チームが参加した。(R3年度)
111	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。(R3年度)
112	芝浦工業大学	「知と地の創造拠点」フォーラム (同時開催: COC学生成果報告会)	平成30年度	産業界 (企業等)	自治体 (行政)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	昨年度に引き続き、本学の研究ブランディングと地域連携活動に焦点を当て、産学・地域連携の発展に向けた情報発信を目的に開催予定。(R3年度)
113	芝浦工業大学	さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験	令和元年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		昨年度に続き、産学連携PBLの取組の一つとして、校舎内にシェアサイクルポートの設置と併せて、シェアサイクルの有効性や課題などの検討及び提案。(R3年度)
114	芝浦工業大学	埼玉県先端産業有識者会議委員「埼玉県先端産業創造プロジェクト」関連	令和2年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		大学の知を生かして、有識者会議に参画 (R3年度)
115	芝浦工業大学	埼玉県科学技術・イノベーション会議委員	令和2年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		大学の知を生かして、有識者会議に参画 (R3年度)
116	芝浦工業大学	さいたま市「第10回学生政策提案フォーラムinさいたま」	平成30年度から参加	自治体 (行政)	産業界 (企業等)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	今年度は機械制御システム学科の学生がエントリーし、『MaaSを想定したコネクティッドバスシステムの実現可能性調査』の成果を発表し優秀賞を受賞 (R3年度)
117	芝浦工業大学	さいたま市スマートシティ関連 (大宮地区)	令和2年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	大宮・さいたま新都心プロジェクト会議にオブザーバーとして出席 9月さいたま市からの協力も得て、さいたま新都心のコクーンシティで自動運転シニアカーの実証実験を実施予定 (R3年度)
118	芝浦工業大学	さいたま医療ものづくり都市構想	令和3年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		今年度も副学長が委員として参加 (R3年度)
119	芝浦工業大学	学生プロジェクト	令和2年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	産業界 (企業等)	幼保・小・中・高等学校等	SDGs学生委員会- 綾いと 低炭素化・省資源化・国際交流などを促進し、SDGsに対して大きく貢献する大学を目指す。様々な地域のSDGsに向けた活動に協力するとともに、それぞれの組織をつなぐ役割を担う。また、協働をきっかけに連携先の方々にSDGsについて本団体を通じて知ってもらう。 <活動実績> アースデイ川越in昭和の街2021
120	芝浦工業大学	さいたま令和3年度埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座 (オープンテクノカレッジ) 公開講座 (オープンテクノキッズ)	平成3年度	埼玉県教育局 生涯学習推進課 生涯学習・社会教育担当			芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。2021年度は下記の2件の講座を令和3年度埼玉まなびいプロジェクト協賛事業として申請した。 ・測量実習 21世紀の伊能忠敬になってみる! ~地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量~ ・ビジネスパーソン応援講座~成果を生んでキャリアアップを目指すために~
121	十文字学園女子大学	地域活動 (ボランティア) Youth Volunteer部	平成8年度	自治体 (行政)			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。毎月1回障害者の方々と出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、課外活動が制限された。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
122	十文字学園女子大学	新座市内大学公開講座	平成9年度	自治体（行政）			新座市教育委員会と本学の共催により、新座市内大学公開講座を開催している。令和3年度は、次の公開講座をオンライン形式（YouTube限定配信）で開催した。 ・11/3「そして、映画は作られた！映画の内幕お話しします。」145名 ・11/13「10代・20代みんなが「健幸」に生きるために～人と共に生きる力を身につける～」50名 ・12/4「子どもの心をひきつけるパネルシアターの技法」80名
123	十文字学園女子大学	インターンシップ（大学）	平成11年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。
124	十文字学園女子大学	にいざプラスカレッジ	平成12年度	自治体（行政）			新座市が市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）と連携し、「にいざプラスカレッジ」（新座市民総合大学を令和2年度に改称）を開校している。大学キャンパスなどを使用しバラエティに富んだ講師陣による座学、実技・フィールドワークといった特色ある講義を展開している。市内在住・在勤・在学の18歳以上を対象。 R3はコロナにより一時中止。
125	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある13の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進歩化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもので、参加大学間で授業科目を学生に開放し、一定の条件を満たせば、「単位認定」を行う。
126	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			コンソーシアム参加13大学のうち、8大学が「さいたま遊学2021～知的、快適生活のススメ～」をテーマに公開講座を計画。 R3はコロナにより一時中止。
127	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県では、県内大学との協働事業として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとなるよう、授業科目の一部を開放するリカレント教育事業（開放授業講座）を実施しており、本学も参画している。 R3はコロナにより一時中止。
128	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体（行政）			子ども大学にいざ実行委員会（新座市教育委員会・地域ボランティア団体“雑木の会”・十文字学園女子大学）が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。 R3はコロナにより一時中止。
129	十文字学園女子大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県では学ぶ喜びとふれあいの輪を県内各地に広めるため、平成22年度より「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」を実施しており、本学の公開講座のいくつかを本協賛事業として実施している。令和3年度は、次の公開講座を本協賛事業として実施した。 ・11/3「そして、映画は作られた！映画の内幕お話しします。」145名 ・12/4「子どもの心をひきつけるパネルシアターの技法」80名
130	十文字学園女子大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、大学生が持つ行動力、専門技術、知識、新しい視点などを活かし、大学の研究室等で学生が地域で実際に活動し、中山間地域に活力をもたらすことを目的とする。 令和3年度は<皆野町金沢地区>、<神川町渡瀬・下阿久原・上阿久原・矢納 地区、本庄市全域>において活動。
131	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	埼玉県			学生の地域連携ボランティア団体「ゾウキリンくらぶ」は、ボランティアで道路の清掃美化活動を行う埼玉県の「彩の国ロードサポート制度」による道路サポート団体として認定を受け、快適で美しい道路環境づくりの活動を展開している。
132	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体（行政）			子ども大学しき実行委員会（志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学）が主催し、小学校4年～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和3年度は、次のとおり実施した。 ・11月14日開催、参加者33名 ・講義内容「マイナス35度の南極ってどんなところ？ -南極を知ることは地球の未来を知ることに-」（ミサワホーム（株）南極クラス担当 井熊氏）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
133	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界（企業等）			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・球団イベントへの学生ボランティアの派遣 ・球団・新座市との共催による本学での親子野球体験イベントの実施（学生が運営スタッフとして参加） R3はコロナにより一時中止。 ・「コロナに負けるな！学生応援プロジェクト」の実施。長引くコロナ禍の影響で経済的に影響を受けている学生を支援する目的で、食料品などの生活物資600セットを2日間にわたり無料配布した。
134	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・18自治体で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、FD・SD、単位互換、地域の教育支援、地域への就職促進、入試広報活動、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。令和3年度もオンラインを併用しながら、各活動に取り組んだ。
135	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
136	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 (令和3年度内容) オンライン方式にて造形講座を開講（10/2、10/16）
137	淑徳大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成19年度	自治体（行政）			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
138	淑徳大学	所沢市大学連携共催セミナー	平成22年度	自治体（行政）			所沢市教育委員会と近隣大学の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、市民の高度化、多様化する学習に応えるため開催している。 (令和3年度内容) コロナにより一時中止。
139	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (令和3年度内容) 感染対策を講じた上で、市内施設で3回実施。小学生30名が参加。
140	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、様々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 (令和3年度内容) 感染対策を講じた上で、市内体育館等で3回実施。小学生30名が参加。
141	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (令和3年度内容) コロナにより一時中止。
142	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体（行政）		小学校	子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
143	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体（行政）		幼保・小・中・高等学校等	教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外（保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等）での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
144	淑徳大学	西みずほ台商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			西みずほ台商店会への学生派遣や商店会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。 (令和3年度内容) コロナにより一時中止。
145	淑徳大学	鶴瀬西口商店会との協働事業	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。 (令和3年度内容) コロナにより一時中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
146	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
147	淑徳大学	三芳町ホストタウン交流事業	令和元年度	自治体（行政）			2019年度に三芳町との相互連携協力に関する協定書に基づき、オランダからの女子柔道チーム選手団の受け入れで、本学からは施設の貸出や学内の専門家による本学学生との練習指導、地域住民への公開練習の開催等の支援事業を行っている。 （令和3年度内容） オリンピック選手団（女子柔道選手2名、コーチ1名）の事前キャンプ受け入れで、本学からは施設貸出を行った。また、オランダ王国大使館も交えてのeスポーツによる交流を行った。
148	城西大学	子ども大学にしているま	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	子どもの学ぶ力や生きる力をはぐぐみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。 なお2021年度については、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、オンライン形式に変更して開校し、11名の小学生が参加した。
149	城西大学	埼玉県事業「大学の開放授業講座」	平成19年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住の55歳以上の方を対象に、授業科目の一部を受講できるように開放する。
150	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体（行政）			連携協力のもと、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。
151	城西大学	公開講座	昭和57年度	大学・短大（大学・短大間連携）			教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講しました。
152	城西大学	インターンシップ		地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	自治体や企業のほか学校での授業補助の「学生インターンシップ」も実施。 なお2021年度は、企業の実施となり、自治体ならびに「学生インターンシップ」は実施することができなかった。
153	城西大学	高麗川プロジェクト	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定しました。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとの川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指したものです。医療栄養学科の医療栄養学概論演習で、高麗川の美化活動などを体験した。
154	城西大学	坂戸市住宅団地にぎわい再生事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。
155	城西大学	埼玉県川の国応援団	平成29年度	自治体（行政）			「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動。高麗川多和目地区の美化活動と自然環境の定点観察並びに情報発信を行なった。
156	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
157	城西大学	坂戸・夏よさこい AIカメラの活用	平成30年度	埼玉県	坂戸市北口商店街		坂戸・夏よさこい実行委員会が掲げる「経済波及効果一億円」に関し、経済波及効果の算出に協力した。経営学部の「まちづくり」受講生などのべ350名が、来場者にアンケートを行い、観光客数や観光客1人当たりの消費額など算出に必要なデータを収集する。そのデータを蛭川簿記塾の学生が算出・分析し、経済波及効果を算出し、主催者や出店者に消費支出の増加を促すためのアドバイスを行う。さらに今年度は、AIカメラで撮影した画像をもとに、イベント参加者を推測し、クラウド上に登録してある分析ツールと連動して、経済波及効果を算出する。算出した経済波及効果は、会場2か所に設置されたサイネージに表示され、さらに一定時間ごとに参加者に伝達し、イベント実施に伴う開催効果を高める。坂戸・夏よさこいでは、イベント開催前に経済波及効果の目標値を1億円と定め、開催後に算出する実際の経済波及効果との差分から効果や課題を可視化し、今後の商店街の活性化に活かしていく。なお、経済波及効果の算出にあたっては、埼玉県産業連関表による経済波及効果分析ツール（県統計課が作成）を使用する。なお2021年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で「坂戸・夏よさこい」自体が中止となったため、実施することができなかった。
158	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケアIPW研修会」	平成30年度	埼玉県	埼玉県内職能団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学	緩和ケアに特化した利用者中心の統合されたケアを創造するために、「利用者・地域の問題解決プロセス」の模擬的職種連携演習（緩和ケアIPW演習）を通して、緩和ケアにおける「チーム形成プロセス」、および「組織や機関間・地域連携プロセス」にも意図的に目を向け、より良い緩和ケアIPWの方法やあり方を考え、新型コロナの新常态を見据え、「遠隔連携」方法についても参加者と一緒に考える機会とする。
159	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW実習」	平成25年度	埼玉県（施設等）	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学		彩の国連携力育成プロジェクトで実施運営している彩の国連科目の一つとして、IPW実習を実施している。2021年度は埼玉県内の15施設（病院、高齢者施設、障がい者施設等）へZOOMを用いて利用者及び患者を対象に専門分野の異なる4大学の学生（埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学）が、オンラインにて対象者の支援計画を作成することで、チーム形成のプロセスや職種による連携を学ぶ。オリエンテーション2日間、実習3日間、全体報告会が1日の、合計6日間の実習である。
160	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW演習（緩和医療学）」	平成25年度	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学			模擬患者を活用し、「がん終末期の患者の、身体的・精神的苦痛を和らげるにはどうしたらいいか」「患者の家族のフォローはどうすればいいか」4大学から異なる分野（医学、理学療法、生活環境デザイン、薬学、医療栄養）の学生が今年度はオンラインにて集まり、連携してよりよいケアプランを考える。
161	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			大学相互の協力交流を通じ、既存の知的資源と人的資源の活用可能性を社会に広報し、学生や社会人等にとって価値のある学修活動の場を広く提供する。近隣の施設において、彩の国大学コンソーシアムに加盟している1大学1講座を実施している。2021年度も、コロナ禍のため、実施は見送られた。なお、学長・副学長および執行部会議の議を経て、令和3年度をもって、城西大学は彩の国大学コンソーシアムを脱退することとした。
162	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムへ加盟大学の内、10大学が単位互換に参加している。希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。なお、学長・副学長および執行部会議の議を経て、令和3年度をもって、城西大学は彩の国大学コンソーシアムを脱退することとした。
163	城西大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成19年度	大学・短大（大学・短大間連携）			協定に加盟する大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施。城西大学は、今年度は幹事校を担当。2021年度も引き続きコロナ禍にあったことから、対面での実施は取りやめ、担当校の城西大学、及び東邦音楽大学様に、Zoomを用いオンラインで対応いただいた。なお、学長・副学長および執行部会議の議を経て、令和3年度をもって、城西大学は彩の国大学コンソーシアムを脱退することとした。
164	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）「職能団体と4大学の意見交換会」	平成30年度	埼玉県	埼玉県内職能団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学	県内職能団体の方々と埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した意見交換会はSAIPEの取り組みについてご意見をいただいたり、緩和ケアIPW研修会のように、我々が実施してきたものを応用した形で現職者向けの研修としてお示ししたり、ご講演をお願いするなどを行ってきた。さらに、地域における連携の課題、連携ができる人材育成の課題などについて意見交換することを趣旨として開催した。2020年に続き2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、Zoom等オンラインツールを用いた遠隔で実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
165	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）「IPWカフェ」	令和3年度	埼玉県	埼玉県内職 能団体	埼玉県立大 学、埼玉医 科大学、日 本工業大学	2018年度から県内職能団体の方々と埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した意見交換会の職能団体からの意見として、多職種の現職者同士でミニレクチャーを交えた会話を、業種を越えてコミュニケーションを楽しむ会としている。気軽に参加できることをコンセプトにZoom等オンラインツールを用いた遠隔にて開催した。
166	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大 (大学・短 大間連携)	自治体（行 政）	産業界（企 業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネージメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
167	城西大学	ミャンマーホストタウンプロジェクト	令和元年度	自治体（行 政）			2021年度に東京2020オリンピック・パラリンピックが実施されたが、鶴ヶ島市役所の担当部署は新型コロナウイルス感染症対応のために組織再編されてしまったことや、ミャンマーで再度クーデターが起こったことから、事前キャンプで受け入れていた選手の大半は出場を果たすことができなかった。
168	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体（行 政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により部活動の連携事業は実施できなかった。
169	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体（行 政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 広報ときがわのコラム連載を行なっている。
170	尚美学園大学	大学によるリカレント教育（開放授業講座）	平成22年度	自治体（行 政）			埼玉県と県内大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるように開放。 「R3年度コロナにより中止」
171	尚美学園大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大 (大学・短 大間連携)			「彩の国大学コンソーシアム」加盟大学間における単位互換。 「R3年度コロナにより中止」
172	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	自治体（行 政）			川越市との連携講座。 川越市民対象の公開講座で、毎年1講座実施している。 「R3年度コロナにより中止」
173	尚美学園大学	川越市スクールインターシップ	平成27年度(2015)	自治体（行 政）			川越市教育委員会と川越市内近郊の大学が連携し、川越市内小・中学校を対象に教職課程に在籍する大学生を学校に派遣し、学習指導の支援や部活動支援を通して、児童生徒の学力及び体力の向上を図るとともに、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目指す。 令和3年度は、小学校：13校、中学校：2校で実施した。
174	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行 政）			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同源プロジェクト」の一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー（食用花）を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げようとの思いから共同でメニュー開発を行った。
175	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行 政）			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
176	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行 政）			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がふじみ野駅前「ピアザふじみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
177	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和1年度	自治体（行 政）			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。
178	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和1年度	産業界（企 業等）			埼玉縣信用金庫本店（熊谷市）で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジパン細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関わる知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
179	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和1年度	自治体（行 政）			川越市中央公民館にて、市内の小中学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
180	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和1年度	自治体（行政）			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野菜（とんでやさい）餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学生が参加し、考案。
181	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和1年度	自治体（行政）			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
182	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
183	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当箱法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
184	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和1年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
185	女子栄養大学	富士見市ふるさと祭りに参加	令和1年度	自治体（行政）			富士見市ふるさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サワーチェリーケーキ・ラズベリーケーキ・ココナッツポール・セルビアクロッケの販売を行った。
186	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和1年度	自治体（行政）			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」と「食料・地域経済学研究室」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の圃場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。
187	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉葛地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉葛地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
188	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう♪～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
189	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）の創立記念週間イベント（NWECAニバーサリーウィーク）が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「プランタン」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
190	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和1年度	産業界（企業等）			連携先である川越総合卸売市場株式会社が主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
191	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和1年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定的地域振興カフェ「IRODORI CAFE」をオープンし、秩父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秩父地域のコラボランチプレートを提供した。
192	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和1年度	自治体（行政）			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
193	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 はとやま食エコレシビコンテスト	令和2年度	自治体（行政）			鳩山町主催、鳩山町教育委員会共催の「はとやま食エコレシビコンテスト2020」の審査員及び食エコレシビ集の監修に調理学研究室(大学)の教員が協力。
194	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 食品ロス削減レシピの作成	令和2年度	自治体（行政）			おうちで実践できる食品ロス削減レシピの作成に、調理学研究室(短大)の教員が協力。レシピは、4つのテーマ（「時短」・「家事負担軽減」・「食費削減」・「健康」）に沿って作成。食品ロス削減月間の10月に埼玉県のホームページでレシピを公開。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
195	女子栄養大学	埼玉県庁×そごう大宮店 【おうちでできるフードロス対策レシピ】	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		おうちでできるフードロス対策レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。食品ロス削減月間の10月、そごう大宮店のホームページで、レシピを公開。
196	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 「彩の国学校給食研究大会」	令和2年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、（公財）埼玉県学校給食会が主催した「彩の国学校給食研究大会」で、「教育と食育との関わり」について、講演。学校給食担当者や学校給食共同調理場の職員、公立小・中・特別支援学校・学校給食実施高等学校の教職員、約150名が参加。
197	女子栄養大学	埼玉県・一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会主催 令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会	令和2年度	自治体（行政）			令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会において、栄養生理学研究室（大学）の教員が「アスリートの栄養・食事」の演題で、90分間、オンライン上で講演。
198	女子栄養大学	三芳町との連携事業 三芳産の野菜たっぷり弁当を考案	令和2年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使ったお弁当づくりに食料・地域経済学研究室の教員が指導のもと、学生が協力。お弁当開発のコンセプトは、「おいしいみよし野菜をたくさんの人に食べてほしい!」。2種類（主菜が2つのガッツリ系弁当&主菜が一つのヘルシー系弁当）考案。販売日・数量限定で、三芳町文化会館内「福祉喫茶ハーモニー」で販売された。
199	女子栄養大学	富士見市との連携事業 学校給食の新メニューの考案	令和2年度	自治体（行政）			不足しがちな栄養素をおいしく摂るため、学校給食の新メニューの作成に、給食・栄養管理研究室の教員が指導のもと、学生が協力。新メニューは、特に不足しがちな鉄分の補給を目的に、鉄分を多く含むレバーチップや小松菜を使用。市内の小・中学校で新メニューが提供された当日は、メニューを考案した学生も調理を手伝った。
200	女子栄養大学	富士見市との連携事業 食育動画講座「パン作り教室」の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			富士見市食育推進事業「パン作り教室」の動画講座で、専門学校の教員が講師を務めた。対面での教室開催予定から市民（申込制）が動画（富士見市撮影・編集）を視聴できる形へと変更しての実施。
201	女子栄養大学	三郷市との連携事業 簡単健康乳幼児レシピと調理動画の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			乳幼児の食生活の重要性を考え、保護者が手軽で簡単に作ることができる健康な乳幼児向けのレシピと調理の動画の作成に、給食システム研究室（大学）の教員指導のもと、学生がレシピ考案、離乳食の試作、撮影等に取り組んだ。レシピと調理の動画は、三郷市のホームページで公開。
202	女子栄養大学	(株)ベルクとの連携事業 栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)ベルクが製造・販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修。
203	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和2年度		産業界（企業等）		コープデリ生活協同組合連合会の販売する健康をテーマにした「からだ健やかシリーズ」のお弁当メニューを監修
204	女子栄養大学	ホンダ開発(株)との取組 同社が運営する社員食堂で本学監修健康フェアを実施	令和2年度		産業界（企業等）		本学園学生食堂の管理栄養士が監修した学食メニューを、ホンダ開発(株)が運営する社員食堂で、提供する健康フェア「からだよるこぶ健康ごはん」を期間限定で実施。
205	女子栄養大学	(株)国太楼との取組 同社の製品2種を監修	令和2年度		産業界（企業等）		(株)国太楼の製品「GABA配合ポット用掛川茶」及び「GABA配合ポット用ルイボスティ」の2種を栄養科学研究所が監修。量販店及びネットで販売予定。
206	女子栄養大学	ふじみ野市 昭和100年大学 「高齢者の実践栄養学」で講演	令和3年度	自治体（行政）			ふじみ野市「昭和100年大学」元気健康学部「健康のための教養学科」で本学教員が「高齢者の実践栄養学」の演題で講演
207	女子栄養大学	富士見市食育動画「親子で楽しくお菓子作り教室」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			夏休みに親子で簡単にお家で作ることができる「お菓子作り」の動画作成に協力、専門学校教員が講師を務めた。
208	女子栄養大学	「埼玉県SDGsパートナー」に登録	令和3年度	自治体（行政）			埼玉県が創設した「埼玉県SDGsパートナー」登録制度に登録。埼玉県HPに本学の「SDGs達成に向けた宣言書」が公開
209	女子栄養大学	鶴ヶ島逸品会と埼玉県産食材を使用したフレイル予防メニューを紹介	令和3年度	自治体（行政）			埼玉150周年・鶴ヶ島市市制施行30周年を記念して、鶴ヶ島逸品会と県内四大学（日本薬科大学・城西大学・明海大学・本学）がコラボした埼玉県産食材を使用した「フレイル予防」をテーマとしたメニューを紹介
210	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(洋食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
211	女子栄養大学	(株)ヤオコーと「『減塩』健康生活提案の取組」を実施	令和3年度		産業界（企業等）		包括連携協定を締結している(株)ヤオコー店舗において、『減塩』健康生活提案の取組を実施

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
212	女子栄養大学	(株)ヤオコーで埼玉150周年記念『地産地消弁当』を発売	令和3年度		産業界（企業等）		本学、(株)ヤオコー、埼玉県、JAグループが協働して、埼玉県産食材を使用した弁当を企画・開発し、彩りや栄養バランス等の面から本学学生が助言した「地産地消弁当」がヤオコー店舗にて期間限定で発売。
213	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和3年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使った「みよしの野菜癒しのレシピ」の監修業務に学生が協力。教員指導のもと、学生19名が4チームに分かれ、弁当と総菜を考案。JAいるま野農産物直売所「あぐれっしゅふじみ野」で期間限定で販売。
214	女子栄養大学	桶川市「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和3年度	自治体（行政）			桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」にて本学教員が「スポーツ栄養学、強くなる小学生の食事戦略～旬の食材を使った身体を作る献立作成」の演題で講演。
215	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使ったチーズケーキを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、地域振興の一助になればと。埼玉県秩父地域の1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、小鹿野町、長瀬町）の特産品を使ったチーズケーキを考案。（一社）秩父地域おもてなし観光公社、お菓子な郷推進協議会との協働で商品化。
216	女子栄養大学	志木市主催「減らすソルトレシピコンテスト」で各賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			志木市主催の「減らすソルトフェスタ」内「おいしく減塩」をテーマとした「減らすソルトレシピコンテスト」にて本学学生が考案したレシピ6品が各賞を受賞。
217	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室(和食編)」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座(和食編)」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
218	女子栄養大学	鳩山町主催「はとやま食エコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			鳩山町主催の「はとやま食エコ推進事業」内「はとやま食エコレシピコンテスト」にて本学学生2名が特別賞を受賞。また、当コンテスト審査員長を本学教員が務めた。
219	女子栄養大学	埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、JAいるま野管内で生産された埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案。JAいるま野YouTubeチャンネルでレシピ動画が公開。
220	女子栄養大学	富士見市学校給食の新メニュー開発に協力	令和3年度	自治体（行政）			富士見市学校給食センターとの食育連携事業で地場産米「彩のきずな」を活用した学校給食新メニュー開発に学生が協力。2022年1月28日。富士見市内全小中学校の給食で提供。
221	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	自治体（行政）			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
222	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体（行政）			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。 R3はコロナのため市民の大学Ⅰ・Ⅱのみ実施。
223	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、「地域インターンシップ/インターンシップⅠ」という科目名で単位が認定される。
224	駿河台大学	森林環境プロジェクト（「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化）	平成18年度	自治体（行政）			飯能市と森林環境プロジェクトの実施に関する協定を平成18年度に締結した。今後100年間を目途として、市と大学が市有林における森林育成活動を通して、森林の維持・保全、森林文化の理解・振興、地域活性化を実現することを目的としている。市は大学に対して市有林を無償で利用に供するほか、必要な支援を行っており、大学は無償供与を受ける市有林の一部を「駿大の森」と称し、そこでは森林育成作業の体験学習や、農山村地域の生活と文化に関するフィールド学習などを実施する。 また、大学は、敷地内の「駿大の里山」において、市内の小、中学校の児童、生徒を受入れ、飯能市「水と緑の学習推進事業 駿河台大学学習林活用実習」に協力している。 R3はコロナのため一時中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
225	駿河台大学	学生参加による<まち>活性化プロジェクト	平成18年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。 令和3年度実施したプログラムは、「子どもボランティア」「環境保全活動」「地域を紹介する映像制作」「プランニングコンテスト」「ソニーミュージック連携講座」。
226	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界（企業等）			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 （１）地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 （２）地域振興活動推進への助言・指導 （３）地域企業へのインターンシップの促進 （４）大学における金融教育の促進 （５）地域教育機関における金融教育方法の共同研究 （６）その他産学連携活動に寄与する事項の推進 令和3年度は「輝け！飯能プランニングコンテスト」、地域活性化講演会を開催。
227	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。 R3はコロナのため全5回のうち3回実施。
228	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけではなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
229	駿河台大学	ワクワクフェスタ	平成26年度	自治体（行政）			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場にプログラムを実施。 R3はコロナのため一時中止。
230	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体（行政）			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。
231	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム（TJUP）に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。 令和3年度は、合同企業説明会など主にオンラインで活動。
232	駿河台大学	駿河台大学 健康講座	平成30年度	産業界（企業等）			埼玉石心会病院と連携し、「駿河台大学 健康講座」を実施。医療の専門家による講座を実施することにより、地域住民の病気や医療に関する知識を高め、健康増進に寄与することを目的としている。 R3はコロナのため一時中止。
233	駿河台大学	駿河台大学オンライン公開講座	令和3年度	自治体（行政）			近隣自治体（入間市、所沢市、飯能市、日高市）の後援のもと、本学教員に加えて4市より講師派遣をしていただき、様々なテーマを取り上げた公開講座である。全6回、オンライン（Zoom）で実施。
234	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	中学校			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって"生きる力"を身に付けることをサポート。 R3はコロナ禍のため一時中止。
235	駿河台大学	小学生社会科見学	不明	小学校			飯能市内小学校の社会科見学受入。
236	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界（企業等）			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「さいたまKI-TAまつり」は中止となった。
237	聖学院大学	上尾シラコバト住宅に関する協定に基づく連携	平成26年度	自治体（行政）			埼玉県と締結した「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化促進に係る連携協定」に基づき、4名の学生が入居し、団地活性化の取組を実施。また、学生が入居したことにより「しらこぼと夏祭り」が再開され、留学生を含む入居生が運営などに参加している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「しらこぼと夏祭り」は中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
238	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ		自治体（行政）			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校5～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、令和3年度は計4回の講義プログラム（定員40名）が実施され、本学においてはそのうちの2回の講義プログラムが行われた。
239	聖学院大学	大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し、年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和3年度のプログラムは12月11日(土)に実施された。
240	聖学院大学	アップシー応援隊	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		こども心理学科の学生が中心となり、上尾市のマスコットキャラ「アップシー」を上尾市内の保育所・幼稚園の子どもたちに親しんでもらう訪問活動を実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、活動休止となった。
241	聖学院大学	パワフルキッズ	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県から依頼を受け、一般社団法人すくすく広場、シラコバト団地自治会と連携し、上尾市にある県営上尾シラコバト団地の活性化につながる子どもたちのあそび場の提供を行っており、ハロウィン、ひな祭りなど季節にあわせたイベントを継続している。令和3年度は新型コロナウイルス感染対策をとりながら、ハロウィンとクリスマスの時期に合わせてプレゼント配布と屋外遊びを実施した。
242	聖学院大学	福祉教育について考える会こころの輪「ここ輪」	平成29年度	自治体（行政）			「こころの輪（通称：ここ輪）」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」と目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。令和3年度は11月末に伊奈町の人権講座においてオンラインによる講演を行った。
243	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま		大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
244	聖学院大学	聖学院大学公開講座		自治体（行政）			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンラインでの実施となった。
245	聖学院大学	オンラインボランティア活動	令和2年度	保育園	NPO法人		コロナ禍におけるボランティア活動として、埼玉県内の保育園や子育て支援のNPOとオンラインで繋ぎ、子どもたちにレクリエーションを提供する活動を展開した。
246	聖学院大学	ゼミによるオンラインでの「パワーポイント絵本」の読み聞かせ	令和2年度	保育園	NPO法人		造形教育論のゼミにおいて、コロナ禍での子どもとの関わりを模索し、パワーポイント絵本の実施を考案し、令和3年度も県内外の保育園や子育て支援イベントにおいてオリジナル絵本の読み聞かせをオンラインで行った。
247	聖学院大学	「基礎自治体マネジメント研究会」の発足	令和3年度	自治体（行政）			令和3年度より本学と包括連携協定を結んでいる上尾市、さいたま市、春日部市、桶川市、埼玉県比企管内8町村（川島町、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）、岩手県釜石市の自治体職員の研修を目的とした、「基礎自治体マネジメント研究会」を発足させた。具体的には、多くの基礎自治体の喫緊の課題となっている「組織の担い手たる人材育成」を支援する事を目的とし、協定を締結した自治体職員対象に定期的な研修プログラムを実施している。
248	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくNPO法人ほっとポットとの連携プログラムの実施	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度に地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的とする「地域連携活動助成金」を設立。特定非営利活動法人ほっとポット（さいたま市岩槻区）によるさいたま市岩槻区周辺の子育て世帯等を対象に、食料品等を無料配布する活動（フードパントリー）について支援を行った。
249	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくNPO法人たねの会との連携プログラムの実施	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて特定非営利活動法人たねの会（さいたま市浦和区）との連携に基づき、大人と子どもも生き生きできる『遊び場』をつくる事を目的とした「プレイパーク体験講座」の実施について支援を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
250	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくムーミン会との連携プログラムの実施	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて若者の就労支援を行っている、ボランティア団体ムーミン会（上尾市）との連携に基づき、生きにくさを抱えている若者や家族のプラトホーム（活動拠点）として、上尾市内での「おとな食堂」の実施に関して支援を行った。
251	大正大学	社会共生物学部公共政策学科フィールドワーク実習	令和2年度	自治体（行政）			さいたま市と連携し、社会共生物学部公共政策学科のフィールドワーク実習を実施している。
252	大正大学	としまMONOづくりメッセ参加企業・団体による春休みインターンシップ	令和2年度	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
253	大東文化大学	東松山市きらめき市民大学、大学院への講師派遣	平成19年度	自治体（行政）			東松山市との協定に基づき、同市が運営する市民大学に講師を派遣しており、2講座に対して講師派遣を行った。
254	大東文化大学	「子ども大学ひがしまつやま」の開校	平成26年度	自治体（行政）			東松山市・大東文化大学で構成される実行委員会により、10月下旬から全3回に渡って、大東文化大学キャンパスならびに市内施設において、大学教員や専門家による講義を行った。
255	大東文化大学	比企地域大学等連携協議会（愛称：Dear my net）事業	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		比企地域周辺に位置する3大学、2短大と東松山市で比企地域の活性化を図ることを目的として事業に取り組んでいる。
256	大東文化大学	物見山つつじ祭りへの学生派遣	平成29年度	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
257	大東文化大学	東松山市スポーツ発見教室	平成30年度	自治体（行政）			東松山市内小学生を対象に、スポーツ科学科教員・学生によりスポーツの楽しさを体験する講座を実施した。
258	大東文化大学	健康長寿事業「毎日1万歩運動+」	令和3年度	自治体（行政）			東松山市の健康長寿事業において、スポーツ科学科教員が市民の方向けに健康長寿やウォーキングについての講習や体力測定を行った。
259	大東文化大学	ふじみ野市エコラボフェスタへの学生派遣	平成30年度	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
260	大東文化大学	ふじみ野市新春ロードレース大会への学生派遣	平成29年度	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
261	大東文化大学	ふじみ野市スポーツフェスタへの学生派遣	令和元年	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
262	大東文化大学	ときがわ町立小学校へのスポーツ指導	平成18年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		R3はコロナにより一時中止
263	大東文化大学	ときがわ町中学生の大学一日体験	平成18年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		R3はコロナにより一時中止
264	大東文化大学	ときがわ町スポーツ指導者育成事業 スポーツ講演会	平成18年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		R3はコロナにより一時中止
265	大東文化大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 オープンカレッジ	-	自治体（行政）			生涯学習講座（大東文化大学オープンカレッジ）として、95講座を開講し1,326名が受講した。
266	大東文化大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	東武東上線ならびに西武線沿線に位置する大学と自治体で、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的として、2018年度より活動を行っている。
267	大東文化大学	久喜市SDGs市民ワークショップ	令和3年度	自治体（行政）			市の総合振興計画の策定にあたり、今後ありたい自分たちの暮らしと久喜市の未来を結びつけ、久喜市の地図に落とし込む「SDGs市民ワークショップ」に学生を派遣した。
268	大東文化大学	TABETE レスキュー直売所	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大東文化大学、東松山市、東武鉄道株式会社、埼玉中央農業協同組合、株式会社コーキッキングの5者で産官学連携による協定を締結し、東松山市周辺のJA直売所で夕方までに売り切れなかった農産物を東武東上線森林公園駅から列車に積み込み池袋駅まで輸送し、再販売して食品ロス削減を目指す取組を2021年度より行っている。
269	東京家政大学	「埼玉県」リアル体験教室・プレミアム事業 ジュニアサイエンススクール2021	令和3年度	自治体（行政）			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議主催、埼玉県教育委員会後援、小学4~6年生対象の、夢の実現を応援するための「学びと体験の教室」の、企業や大学等が主催している「プレミアム教室」に参画。(1)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」おもしろい！サイクロデキストリン実験～味と香りを封じ込め、取り出す化学～には、定員の4倍に迫る応募があった中、18名の参加。(2)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」「調理」を科学の目で見ながら、再発見！～親子で野菜・果物の色の変化を観察してみよう～も、定員の8倍を超える応募があったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
270	東京家政大学	≪東京家政大学・狭山市・入間市主催、TJUP共催≫子どもスポーツ体験教室	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		近隣自治体のスポーツ推進の一環として生涯スポーツの充実化を目指す取組みとして、狭山市・入間市との連携により2012年（平成24年）から「スポーツ体験教室」を継続実施している。この「スポーツ教室」を通して、教員を目指す学生達を事前指導により新たな指導法の実践を促し、また、協力校を含む埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)加盟大学の学生には当日補助業務により、地域の児童を対象に様々な運動遊びを体験させ、各個人の能力・可能性を広げる等の教育支援活動を取組む事業とし、今後の大学生活におけるネットワークを構築するとともに、地域社会への貢献力を学ぶ機会とする。当日は27名の児童の参加があり、学生2名を含む25名のスタッフで運営。
271	東京家政大学	≪入間市共催研修会≫小学校教員向け集中研修会	令和3年度	自治体（行政）			「小学校外国語活動集中研修会」は、基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組みやすく、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 「理科観察実験実技研修会」は、理科の観察実験授業を「安全に」「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。小学校または中学校教員が対象。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により中止。
272	東京家政大学	≪入間市共催研修会≫保育者研修会	令和3年度	自治体（行政）			幼稚園・保育園等における保育現場での様々な課題についての対応のほか、研修により、保育者意識の向上及び実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 新任から10年未満の保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）対象。15名の参加があった。
273	東京家政大学	彩の国大学コンソーシアム事業	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）			彩の国大学コンソーシアムによる公開講座『さいたま遊学2021～知的、快適生活のススメ～日常生活における美術的視点の発見』。高校生から社会人対象で、会場はウエスタ川越。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により中止。
274	東京家政大学	≪TJUP≫県西部大学連携リレー公開講座	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		『明日を育てる人を育てる－ひと・育成力アップ－』子ども編×大人編 東京家政大学・駿河台大学・東邦音楽大学主催、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)共催、狭山市教育委員会・入間市教育委員会・飯能市教育委員会・川越市教育委員会後援。小学4～6年生とその保護者または個人対象。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により定員を縮小して開催。 「メロディの秘密・誰でも作曲家」(東邦音楽大学)は大人13名子ども13名参加。 「木のおもちゃとプログラミング教育」(駿河台大学)は大人14名子ども15名参加。 「動いてわかる音楽～リトミック体験～」(東京家政大学)は大人12名子ども10名参加。
275	東京家政大学	≪TJUP≫吉見町かけっこ教室	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指すことを目的とする地域連携事業。 武蔵丘短期大学において、当日運営ボランティアとして健康科学部リハビリテーション学科の3年生1名が参加。
276	東京家政大学	≪TJUP≫イオンタウンふじみ野における事業	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）		「大人と子どものための「絵本」と「マンガ」の読み方セミナー」 親子で楽しめる絵本の読み方を紹介。園児や小学生だけではなく、中高生や大人が児童文学を楽しむことを伝える。また、「マンガは教科書」の観点のもとマンガからの学び方を紹介。マンガは大人にも新たな視点をもたらすことができることを知ってもらおう。
277	東京家政大学	≪TJUP≫2021学生交流委員会事業	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	「TJUP自治体魅力再発見プロジェクト～私たちの大学がある街の魅力再発見！！」 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)に所属する大学・短大の学生で、鳩山市・吉見町・入間市・川越市の4つの自治体の魅力について情報を発信。各所(史跡)や産業、グルメや特産品など、地域の特徴をPRチラシにまとめる過程で学生同士のコミュニケーションを深める。東京家政大学からは健康科学部リハビリテーション学科の3年生2名が参加。
278	東京家政大学	≪東京家政大学・駿河台大学共催≫ジュニアアカデミックスクール	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		プログラミング教室「楽しくプログラミングを学ぼう！！」 東京家政大学・駿河台大学共催、狭山市教育委員会・入間市教育委員会・飯能市教育委員会後援。小学4～6年生対象。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として定員を縮小して開催。東京家政大学・駿河台大学両会場共各9名参加。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
279	東京家政大学	≪東京家政大学・狭山市共催講座≫	令和3年度	自治体（行政）			「体幹(腹筋・背筋)を鍛えて健康増進！－運動と筋活動の関係を知ろう－」「withマスクで楽しめる軽スポーツ」。狭山市在住・在勤の方対象。「体幹(腹筋・背筋)を鍛えて健康増進！－運動と筋活動の関係を知ろう－」は14名参加。「withマスクで楽しめる軽スポーツ」は令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により中止。
280	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	令和3年度	自治体（行政）			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら、子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。狭山市・入間市在住の小学4～6年生が対象。R3はオリンピック・パラリンピック開催時期を避け、11月に3日間コマ形式で開催。また、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により定員を縮小して開催。狭山市・入間市各市15名参加。
281	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和3年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として参画。多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。(単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等)
282	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体（行政）			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 <令和3年度> コロナにより中止
283	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催 <令和3年度> コロナにより中止
284	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界（企業等）			キャリアプランニング教育の一環として商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち就業機会の拡大を目的とした川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他 <令和3年度> 4名の学生を派遣
285	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 <令和3年度> コロナにより中止
286	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界（企業等）			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等。 <令和3年度> 型新型コロナウイルス感染状況を鑑み、冠講座の提供のみ実施。
287	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	文部科学省「平成25年度地（知）の拠点整備事業(COC事業）の拠点校として採択されたことを機に「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めている。現在は文科省COC事業からは離れ、本学独自の取組としている。 地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人材』を育成するために、大学・自治体（行政）・民間（企業及びNPO等）の3者が連携・協働し、①地域商業・産業の活性化②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる主体的な人材育成を目指し地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的である <令和3年度> ■タイトル：川越公・民・学連携会議 日程：6月7日、7月12日、9月15日、10月15日 場所：ハイブリッド開催（対面・Zoomミーティング） 概要：川越市役所、地元企業、本学による川越の地方創生に関する産学官会議「川越公・民・学連携会議」を2か月に1回のペースで実施。 本年度「観光まちおこしプロジェクトA」では、全国の大学生が参加する「大学生観光まちづくりコンテスト」へ出場し、①北陸ならではの資源を活かした広域周遊型の「持続可能な観光まちづくり」への提案を行うチーム、②ニューノーマル時代に対応する観光まちづくりへの提案を行うチームに分かれ、PBLでの活動を実施。地元川越で日々実践しているフィールドワーク、PBLの成果を発揮した。「観光まちおこしプロジェクトB」では、地元川越の課題である「食べ歩き問題」を解決すべき、JTBの協力を得て、「持ち帰りたく紙袋」を制作し、観光客に配布することや、JTBが展開する「JTB地球いきいきプロジェクト」に参加し、川越での清掃活動などを実施。地元川越の商店街の課題解決や観光客の意識変容を促す活動とし、川越市でのサステナブルツーリズムの実現を目指した。この活動は各種メディアで紹介されることとなった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
288	東京国際大学	「スクール・インターシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、 ①市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とする。 ②2020年度からの小学校での英語が教科化されることをうけて、川越市内小学校と言語コミュニケーション学部とで、「川越市小学校英語ティーチング・アシスタント」制度を導入。 <令和3年度> コロナにより中止
289	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界（企業等）			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展②事業の経営理念・経営目標・経営戦略③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 <令和3年度> 「事業承継論」を川越商工会議所の会員企業に公開。
290	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員（行政）	警察（埼玉県警察本部）		キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。科目名：「地域の安全と警察」 <令和3年度> 新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、オンデマンド授業にて実施
291	東京国際大学	坂戸高校国際交流研修	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			坂戸高校の国際理解教育の一環として、留学生を坂戸高校へ派遣し、少人数でのフリートークを通じた、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした国際交流企画。 <令和3年度> コロナにより中止
292	東京国際大学	川越国際交流センター受付業務委託	平成23年度	自治体（行政）			川越市国際文化交流課の業務委託を受け、川越市国際交流センターに留学生を派遣し、受付業務を担当する。業務内容として、来館者への対応、インターネット利用希望者の利用受付、来館者の集計、センター内の見回り、簡単な通訳・翻訳などである。 <令和3年度> コロナにより中止
293	東京国際大学	川越市外国籍市民会議	平成30年度	自治体（行政）			川越市主催の多文化共生と国際交流・協力の推進のための川越市外国籍市民会議に参加。 <令和3年度> 東京国際大学より留学生1名が委員として4回の会議に参加。 ●第1回 令和3年9月25日（土曜）午後5時10分から 議題 正副座長の選出 令和3年度のテーマ決め ●第2回 令和3年10月30日（土曜）午後5時10分から 議題 市民協働型の新たな多文化共生施策について ●第3回 令和3年12月4日（土曜）午後5時10分から 議題 市民協働型の新たな多文化共生施策について ●第4回令和4年2月19日（土曜）午後5時30分から 議題 市民協働型の新たな多文化共生施策について
294	東京国際大学	国際理解講座	令和元年度	自治体（行政）			2020年東京オリンピックのゴルフ会場が地元川越市で開催されるため、多くの外国人観光客が川越市を訪れることが予想される。そのため、市の活性化をテーマに「川越おもてなしプラン」が策定され、その一環として、市民を対象にした外国人観光客への多言語対応の取り組み、「おもてなし英語・ベトナム語」「おもてなし英語・中国語」と題した国際理解講座が行われており、東京国際大学GTI教員が英語の回（各講座4回）を担当している。 <令和3年度> コロナにより中止
295	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体（行政）			川越市産業振興課から商学部が参加依頼されたもの。 川越市の産業振興のためのフェスティバル。 <令和3年度> コロナにより中止

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
296	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		<p><令和3年度></p> <p>「ビジネスソリューション」の授業において、就職価値観を醸成するという目的で県庁と（株）マイナビとの連携のもとで、埼玉県の企業から具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業で展開した。本年度、株式会社笛木醤油(笛木醤油株式会社 代表取締役社長 笛木正司氏)の協力のもと「新商品開発」をテーマに取り組んだ。</p>
297	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。</p> <p><令和3年度></p> <p>新型コロナウイルス感染症に最大の注意を払いつつ実施。</p>
298	東京国際大学	鶴ヶ島市学生インターンシップ	平成25年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		<p>鶴ヶ島市教育委員会と東京国際大学が、学校教育分野における連携、協力に努めることにより、相互の教育の充実及び人材の育成、広く社会の発展に寄与することを目的とし、鶴ヶ島市の小・中学校へ教育支援学生ボランティアとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。</p> <p><令和3年度></p> <p>コロナにより中止</p>
299	東京国際大学	近隣小学校への学習支援	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			<p><令和3年度></p> <p>コロナにより中止</p>
300	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		<p>平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動である。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。</p> <p><令和3年度></p> <p>コロナにより中止</p>
301	東京国際大学	埼玉県立川越高等学校 異文化理解教育	令和3年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>川越高等学校の異文化理解教育の一環として、留学生を派遣し、少人数でのフリートークを通じた、国際相互理解と英語及び日本語でのコミュニケーションを目的とした国際交流企画。</p> <p><令和3年度></p> <ol style="list-style-type: none"> 日時 令和4年2月14日（月） 場所 県立川越高等学校（川越市郭町2-6） 集合時間 13:45（14:15～15:15） 派遣留学生の数：2名 （日本語または英語） <ol style="list-style-type: none"> 自己紹介 日本で何を勉強しているのか 生徒からの質問（事前に質問をお渡しします。） 生徒への質問 その他
302	東京国際大学	特殊詐欺啓発動画制作	令和3年度	自治体（行政）	埼玉県警川越署生活安全課		<p><令和3年度></p> <p>特殊詐欺に遭わないよう市民を啓発するためのビデオを大学の映像制作授業を利用して制作し、警察広報で特殊詐欺防止のために活用する。</p>
303	東京電機大学	埼玉産業人クラブ TDU産学交流会	平成2年度	産業界（企業等）			<p>埼玉産業人クラブ会員企業の技術レベル向上を図るため本学と産学交流を行う。年間にわたり、技術講演会・事例発表会、先進企業・工場見学会、学生対象企業・業界研究会等を開催。会員企業23社と本学との連携により運営している。</p>
304	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			<p>彩の国大学コンソーシアムへ加盟している13大学のうち、9大学が大学間連携として単位互換に参加している。</p> <p>希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数に制限は無い。</p>
305	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大（大学・短大間連携）			<p>加盟協定校の教職員を対象に【研修会】を年2回実施。令和3年度は「協創による新たな大学運営を目指して」「音楽大学における地域連携の取り組み事例発表」をテーマに開催した。</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
306	東京電機大学	スーパーサイエンスハイスクール支援事業	平成24年度	高等学校連携			埼玉県立松山高等学校が平成24年度に第1期SSHの指定を受けて以降継続して高等学校教員と連携し指導にあたっている。令和3年度は「熱電素子を用いた発電」「酸化チタンの生成」「水車の羽の形状による発電効率」の各研究について指導した。
307	東京電機大学	埼玉県坂戸市住宅団地にぎわい再生事業 北坂戸にぎわいサロン運営	平成26年度	自治体（行政）	自治会		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前UR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的ににぎわい再生活動を行っている。令和3年度は、パソコン相談・健康管理アドバイス・ペーパーバンドクラフト教室・編み物クラブのほか、本学留学生との交流会を年間を通じ開催した。
308	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム (ここから武蔵コンソーシアム)	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。令和3年度はワークショップや講演会を実施した。
309	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大19校、自治体21市町、事業所等13団体により構成。地域の課題解決のため諸活動を展開。令和3年度は、単位互換・公開講座・地域リスクマネジメント・社会人対象教育プログラムのほか東松山市高坂地区におけるクリーンウォークや比企郡川島町の政策研究に参加した。
310	東京電機大学	比企郡鳩山町魅力発信事業	令和3年度	自治体（行政）			比企郡鳩山町の魅力発信のため「町要覧」のデジタルブック化プロジェクトに協力。作成した【鳩山町魅力発信デジタルブック】は令和4年3月に町内外に公開されている。
311	東京電機大学	坂戸市北坂戸公民館連携事業	令和3年度	自治体（行政）	自治会		坂戸市北坂戸地区自治会会員(住民)を対象に【スマートフォン教室】を2日間にわたり開催した。
312	東京電機大学	UR連携活性化プロジェクト	令和3年度	その他(UR)	自治体（行政）		UR北坂戸団地の活性化ならびに入居者の健康生活支援を目的にURと連携し、団地集会所にてヴァイオリンコンサートを開催した。コンサートはYouTubeにて全国配信。
313	東邦音楽大学	南古谷ウインドオーケストラ	平成17年度	幼保・小・中・高等学校等			少子化に伴い、個々の吹奏楽の団体では部員も減少し、十分な編成を組むことが出来なくなってきたこと、吹奏楽の練習等を行うための施設の確保が難しいこと、さらに指導者が不足していることから、川越市南古谷地域子どもサポート委員会との連携により、川越市南古谷の中学校3校（南古谷中学校・東中学校・砂中学校）の吹奏楽部員を核に演奏活動を行っている。平成28年度より、一定の基準をクリアすれば単位認定を行っている。 「R3年度コロナにより中止」
314	東邦音楽大学	東邦音楽大学 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成12年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、埼玉県吹奏楽連盟、川越市吹奏楽連盟の後援を得て、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 「R3年度コロナにより中止」
315	東邦音楽大学	川越市吹奏楽連盟 管打楽器実技講習会 ～プラスクリニック～	平成13年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、川越市吹奏楽連盟の要請を受け、川越市内、中学校・高等学校の吹奏楽部より希望する団体を集め、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。 「R3年度コロナにより中止」
316	東邦音楽大学	中学校・高校生のための日本管弦打楽器ソロコンテスト	平成16年度	その他			文部科学省（2019年度～文化庁）、埼玉県、埼玉県教育委員会他諸団体の後援・協賛を頂き、全国の中学生高校生を対象とし、木管楽器部門・金管楽器部門・打楽器部門・弦楽器部門のソロ演奏審査を行っている。《予選》では、参加者全員に審査員の講評が渡され、《本選》では金賞、銀賞、銅賞の3つのランクに表彰及び審査員の講評が渡される。また、金賞受賞者のうち、特に優秀であると認められた参加者には特別賞が授与され、受賞記念演奏会に出演することができる。
317	東邦音楽大学	音楽鑑賞教室	平成8年度	幼保・小・中・高等学校等			小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として「オーケストラ」「ウインドオーケストラ」演奏などの鑑賞教室を行っている。
318	東邦音楽大学	都立大塚病院院内ミニコンサート	平成4年度	その他			病院にて、入院患者はもとより一般来院者の方々を対象にミニコンサートを行う。 「R3年度コロナにより中止」
319	東邦音楽大学	文京シビックコンサート	平成7年度	自治体（行政）			文京区役所シビックセンターにて、一般の方々を対象にコンサートを行っている。 「R3年度コロナにより中止」

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
320	東邦音楽大学	出張演奏	平成5年度	その他			川越市東部地域ふれあいセンター他、文京区、川越市内などの児童館、図書館、保育園、福祉施設、病院、各種イベントなどへの出張コンサートを行う。 「R3年度コロナにより中止」
321	東邦音楽大学	ニューイヤーコンサートin南古谷	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			南古谷地域の文化団体の演奏発表会。東邦音楽大学附属東邦第二高等学校及び南古谷ウインドオーケストラも出演している。 「R3年度コロナにより中止」
322	東邦音楽大学	インターンシップ	平成17年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	その他	大学2、3年次生及び短期大学1、2年次生を対象として、行政（自治体）又は企業において概ね10日間の就業体験を行っている。
323	東邦音楽大学	小学校、中学校の授業サポート	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市内小学校、ふじみ野市内小学校、中学校において、学生が授業サポートにあっている。平成28年度より、一定の基準をクリアした場合には単位認定を行っている。 「R3年度コロナにより中止」
324	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体（行政）			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
325	東洋大学	川越市民の被害時における車両避難場所としての施設利用	令和3年度	自治体（行政）			被害時において、川越市の地域住民が避難の円滑化を図るため、大学の駐車場を車両避難場所として利用することを認める。
326	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
327	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
328	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
329	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
330	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		川越市共催事業という市民講座。
331	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	自治体（行政）			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年1回開講。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
332	東洋大学	教育提携プログラム	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高等学校（平成19年より実施）の生徒に対し、「高等学校生徒に大学教育を開放し、大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計る」ことを目的に、年2回（1回2コマ）毎回テーマを変えて実施している。全回受講した生徒には、修了証を授与する。
333	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
334	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体（行政）			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「鶴ヶ島」「川越」の2か所で本プロジェクトを展開している。
335	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
336	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習（オンラインでの講義及び機器を使つての実習）を実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
337	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界（企業等）			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2021年度は、「現場データの可視化・定量化」をテーマとし、関係機関の講師による講演・事例紹介や、参加企業のデジタル技術導入事例紹介、各社のデジタル化における取り組みと課題についての意見交換を行った。（2022年度上半期まで同テーマで活動予定）
338	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	平成19（2007）年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っている。センタースタッフによる相談対応の他、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っている。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めている。その他、母親向け講座「おやこ大学ひろば」、小学生対象「大学たんけん」、「弁護士と学ぶワークショップ」、草加市と連携した「子育てフェスタ」、「子育て支援講座」などのイベントも開催している。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な功績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰（子ども・若者育成支援部門）を受賞した。
339	獨協大学	埼玉県「ふるさと支援隊」	平成23年度	自治体（行政）			中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行等により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっている。大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図ることを目的とする。 (1)活動計画作成 (2)協働活動(4回以上) (3)活動状況の報告 (4)活動報告会への参加 (5)活動結果報告書(成果品)の作成
340	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体（行政）			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
341	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学祭実行委員会が草加ふささら祭り実行委員会と連携し、大学祭参加団体の草加ふささら祭り会場でのパフォーマンス披露、広報協力、大学祭イベントで「ふささら賞」の設置など、様々なコラボレーションを行っている。また例年、「草加ふささら・ドイツフェア（主催：草加ふささら祭り実行委員会）」が大学祭に合わせて獨協大学前駅西口広場にて開催される。令和3（2021）年度コロナにより中止。
342	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体（行政）			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（主催：草加市国際交流協会、共催：獨協大学）を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深められるイベントとなっている。「ワールド・ランゲージ」という企画には海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちとの会話をしており、好評を得ている。本学の学生団体やゼミ等も多数参加しており、研究発表や交流型イベントも行っている。毎回6,000名が来場しており、その運営に多くの学生がボランティアとして携わっている。 （令和2（2020）年度～令和4（2022）年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止）
343	獨協大学	草加市共催子育て支援講座	平成21年度	自治体（行政）			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、草加市・獨協大学協働宣言に基づき、子育て支援講座を共催している。令和3（2021）年度は「子どものアレルギーを正しく知ろう」、「アンガーマネジメント」を開講した。「よりよい親子関係作りのプログラム」ではペアレントプログラム講師認定資格を持つ当センター相談員が講師を務めた。
344	獨協大学	子育てフェスタの実施・運営	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、親子で一緒に楽しく遊ぶ場、人と人が触れ合う場を提供し、地域の子育て支援を行うことを目的とした、草加市主催のフェスタの運営・企画に運営委員として協力し、当日には工作や手芸のブースを出している。
345	獨協大学	小学生の剣道合同稽古	平成元年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			松原剣道スポーツ少年団（草加市）の小学生が大学内の道場にて本学剣道部の学生と合同で稽古している。令和3（2021）年度コロナにより中止。
346	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界（企業等）			社会福祉ボランティアを活動目的とする文化会団体（部）の白鷺会が、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。令和元（2019）年度は4月、12月に実施した。平成21（2009）年には長年の協力に対し、日本赤十字社より、白鷺会に感謝状が贈呈されている。令和3（2021）年度コロナにより中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
347	獨協大学	夏休み大学たんけん	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、地域の子どもの健全育成や関係団体との連携を目的として、夏休み期間を学童(児童)クラブで過ごす子どもたち対象に、子どもたち自身に「たんけんたい」として大学内を散策してもらうことで大学紹介へとつなげる取り組みを行っている。令和3(2021)年度コロナにより中止。
348	獨協大学	夏休み子どもワークショップ	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、小学校高学年対象の子どもワークショップを埼玉弁護士会協力のもと開催している。令和3(2021)年度は令和4(2022)年3月に実施。「全集中で解き明かせ!～弁護士と学ぶ刑事裁判の原則～」をテーマに、人を裁くとはどういうことか、その際に必要な考え方(無罪推定の原則や証拠裁判主義)について学ぶ。
349	獨協大学	高年者学級 コスモス	平成20年度	自治体(行政)			草加市立谷塚文化センターが主催する事業に草加市内在住の60歳以上を対象に年間10回の催しを開催する高年者学級「コスモス」がある。その催しの一つ「草加のまちを考える わがまちの獨協大学で学ぶ」を毎年本学内で開催。講師による講義、施設見学等を実施している。令和3(2021)年度は谷塚文化センターにて、「『方言漢字』の宝庫・草加市」を講演した。
350	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体(行政)			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を育む講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により平成27(2015)年度から開講された。草加市内の小中学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和3(2021)年度は7月、10月に獨協大学キャンパスで実施。
351	獨協大学	法政総合講座	平成16年度	自治体(行政)			近隣の草加市、越谷市、八潮市との関わりの中で、各市が目指すまちづくりや自立した自治体を実現するための新たな行政経営を理解し、学生が自ら地方行政に参加する双方向の授業として、「法政総合講座」を開講し、一部を市民に公開している。この講座は隔年で開催され、前出3市の職員の方が講師となり、地方行政が抱えている課題や新たな取り組みについて講義を行う。募集については、広報そうか等でお知らせしている。令和3(2021)年度コロナにより市民への公開は中止。
352	獨協大学	自転車サルベージの実施		地域団体 (NPO、ボランティア等)			環境サークル「Deco」がFSCサルベージ協会(事務局:草加市)と協働で年4～5回、草加市や川口市などを流れる川から廃棄自転車の引上げを行っており、平成29(2017)年度には引き上げた自転車の数が累計1000台となるなど継続的に活動している。令和3(2021)年度コロナにより中止。
353	獨協大学	草加宿場祭まつり大名行列		地域団体 (NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		演劇研究会が草加宿場まつりの中の企画である大名行列において、行列に参加するだけでなく、小学生へ歩き方の事前指導や、当日の小学生の体調管理など草加宿場まつり実行委員会と連携し運営している。また、行列には本学の外国人留学生も参加している。令和3(2021)年度コロナにより中止。
354	獨協大学	おやこ大学ひろば	平成22年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	自治体(行政)	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、未就園児と保護者を対象に、子育て支援とそれに伴う課題の予防として、「おやこ大学ひろば」を開講している。令和3(2021)年度は「タッチケア(ベビーマッサージ)」「離乳食について」「絵本の楽しみ方」「食育」「子どものスキンケア」「おやこ工作」「わらべ歌」「子どもの発達に合わせた遊び方」をプログラムとしてオンラインで扱った。
355	獨協大学	小中学校・高等学校への留学生派遣	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			小中学校・高等学校における国際理解の授業等のため、外国人留学生の参加依頼があることから、学生の履修等に支障のない範囲(年3回程度)で各校に派遣を行っている。授業等において母国や文化に関する紹介を行っており、平成24(2012)年が最初の事例となる。 (令和3(2021)年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大によって外国人留学生が受入れ不可となったことから実施せず)
356	獨協大学	おやこ大学ひろば とらいあんぐる	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターと子育て支援団体「ハートライアングル」との共催でおやこ大学ひろば内で講座を開催している。年齢月齢別に3クラスに分け、それぞれに月に1回ずつ開催。親の子育てと子どもの成長・発達を支え、親子の良好な関係を築くためのサポートが目的。令和3(2021)年度は4月よりオンラインでの開催。
357	獨協大学	高齢者用施設での慰問演奏、演技披露、イベント協力		地域団体 (NPO、ボランティア等)			クラブサークルが近隣の老人ホームやデイケアセンターにて慰問演奏や演技披露、イベント協力を行っている。2019年度は、管弦楽部が慰問演奏、フラメンコサークルが演技披露、ボランティアクラブが夏祭りの手伝いなどを行った。令和3(2021)年度は、フラメンコサークルが地域の特別養護老人ホームに演舞やご挨拶を記録したDVDを作成、送付した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
358	獨協大学	防災に関する連携事業	平成26年度	自治体（行政）			草加市と締結している「災害時における応急活動の協力に関する協定書」に基づき、防災に関する連携事業を行っている。令和3（2021）年度には本学の防災訓練において避難所設営訓練として草加市から住居スペースや更衣室スペースのテントを借用し、参加者が実際の避難所のイメージを掴めるような取り組みをした。また、草加市主催の防災講座の実施協力を行った。オンライン配信講座の撮影場所の提供と、高安ゼミの学生による市内に住む外国人住民を対象とした避難所案内冊子の作成についての発表を行った。
359	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
360	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	産業界（企業等）			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
361	日本工業大学	情報ボランティア派遣制度	平成9年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の情報工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣している。平成9年度より毎年開催してきているが、令和2および3年度については、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。
362	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えること、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。平成19年度より毎年開催してきているが、令和3年度については、新型コロナウイルスの影響で1名のみ派遣となった。
363	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科教室	平成20年度	その他			応用物理学会・応用物理教育分科会と連携し開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員で、身近なサイエンスの原理を楽しみながら体験的に理解すること、教育現場での指導の一助となることを目的としている。令和3年度は対面で実施し、児童・保護者など15名が参加。直前欠席が多かったため、欠席者には教材を送付しオンデマンドの解説ビデオを公開した。
364	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大（大学・短大間連携）		埼玉県との協定による県内16大学共同実施の開放講座で、本学はこの講座のニックネームを「シニアチャレンジ講座」として公開している。1年に2回、春と秋に受講生を募集し、学部学生と机を並べ学習に参加するものである。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止とした。
365	日本工業大学	高度金型人材育成事業 金型スクール	平成23年度	産業界（企業等）			本学では、平成20～22年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受け、金型設計者育成のための教育カリキュラムの開発を進めてきた。平成23年度より、本学に金型教育事業部を設け、金型設計者としての基盤的技術力を身につける金型基礎ユニット（U1）と金型実践ユニット（U2）を実施している。
366	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」 (埼玉県青少年夢のかけはし事業を改名)	平成21年度	埼玉県			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当し、理科工作と実験の実演を行っている。令和3年度は12月11日(土)に実施し、小学生48名が参加した。
367	日本工業大学	春日部市包括的連携推進事業	平成22年度	自治体（行政）			春日部市が活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展のため、包括的連携協定を締結している大学及び短期大学の研究グループに対し、研究に要する費用を助成する。令和3年度は「文化財等に対するICT技術を活用した効果的な展示・説明を支援する手法の調査研究」を実施。
368	日本工業大学	寄付講座	平成23年度	産業界（企業等）			川口信用金庫による寄付講座「創業の基礎」を例年、秋学期に開講している。全学年・全学科対象の自由科目となっている。受講生にとっては社会で活躍する企業家等の生の経験談を得ることができる貴重な機会となっている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
369	日本工業大学	春日部市官学連携団地活性化推進事業	平成23年度	自治体（行政）			春日部市と包括的連携協定を締結している大学の学生グループが、春日部市武里団地でルームシェアにより居住し、団地活性化のために行う地域貢献活動に対し、団地家賃の半額相当額及び定期代半額相当額の助成金が交付される。令和3年度は4名の学生が入居し活動。
370	日本工業大学	子ども大学みやしろ	平成23年度	自治体（行政）			本学、宮代町、埼玉県等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和3年度は計4回、小学生29名が参加した。
371	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県立大学（代表校）を中心に埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画。多職種の連携により課題を発見し解決できる人材の養成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々も対象とした取組などを、多様に展開している。
372	日本工業大学	彩特ICT/AT.Labo 研究大会	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			彩特ICT/AT.Labo（埼玉県内の特別支援学校や特別支援学級の教員が集まり成26年度に発足した任意研究会）と本学が連携し、ICTとAT（アシスティブテクノロジー：支援機器・技術）を活用した特別支援教育の実践研究大会を年2回共同開催している。3年生のPBL演習科目、卒業論文や修士論文の研究テーマ策定や成果発表の場となっている。この連携の一環で越谷総合技術高校と合同のPBL演習も実施している。
373	日本工業大学	子ども大学すぎと	平成28年度	自治体（行政）			本学、杉戸町、町内企業等による連携事業。本学では「ものづくり」「実工学教育」を学びの基本とした専門的な講義や体験などを実施。令和3年度は計4回、小学生31名が参加した。
374	日本工業大学	学外ビジネスプランコンテストへの学生チーム派遣	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		春日部市が行う学生政策提案コンテスト、さいしんコラボ産学官が開催する「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」等に学生チームを積極的に参加させている。春日部市学生政策提案コンテストでは平成29年より3年連続で最優秀賞を獲得する他、学生が提案した政策の実証イベントとして「サイエンススクールinかすかべ」が開催された。「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」では令和2年度・3年度連続で審査員特別賞を獲得した。
375	日本工業大学	東武鉄道沿線連携勉強会	平成29年度	自治体（行政）	民間企業		東武鉄道沿線における、官民ならびに地域間連携によるまちづくりに係るナレッジの融合の機会を創出することにより、地域課題の複合的な解決を図り、持続可能な地域社会を実現する。これまで6回の勉強会の他、視察や幹事会を実施している。令和4（2022）年3月には、国土交通省主催の「令和3年度 鉄道沿線まちづくり全国会議」にて、フリートーク形式の動画にて、取組みの報告を行なった。
376	日本工業大学	金融機関向けものづくりセミナー	平成29年度	産業界（金融機関）			文系大学出身者中心の金融機関職員を対象にした職員研修プログラム。本学の有する工作機械の名称、用途等をわかりやすく実地で伝えると同時に、工作機械の更新需要など、製造業への理解・目利き力を有した職員を育成し、結果として地域の投融资活性化・経済活性化を目指す。大学としても金融機関の支店職員に地域大学としての役割、活用方法などをレクチャーすることにより地域全体への大学PRを行えるメリットを有している。県内の2金融機関から、毎年、50名程度の職員研修を受け入れている。令和3年度コロナにより中止。
377	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	自治体（行政）			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間5時間のプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミング的思考を学習した。平成30年度より毎年開催してきているが、令和3年度については新型コロナウイルスの影響で中止となった。
378	日本工業大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	東武東上線、西武池袋線及び西武新宿線の沿線地域を中心に所在する大学及び短期大学、自治体、事業者等が参画し、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を目指すプラットフォーム。本学は当該地域外ながら、連携教育の展開、および連携教育の方略検討において協力している。
379	日本工業大学	日本工業大学 びっくり科学実験ショー	令和元年度	自治体（行政）			越谷市の越谷市科学技術体験センター「ミラクル」の実施する科学講座の1つとして依頼を受けサイエンスショーを実施。令和3年度はコロナにより中止。
380	日本工業大学	トウブコ駅周辺エリア連携（仮）	令和2年度	自治体（行政）	民間企業		東武動物公園駅の西口駅前再開発をきっかけとし、駅の東口及び西口周辺のエリアを生活者の視点から生活圏と捉え、行政と民間が緩やかに連携することを目指す。これまで、そのための準備のミーティングを重ねている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
381	日本工業大学	宮代町児童クラブ 理科実験教室	令和2年	自治体（行政）			宮代町児童クラブ受託運業者からの依頼で、宮代町の児童クラブで理科実験教室を実施。令和3年度は8月24日-26日にふじ児童クラブ、かしの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブで実施し、計160名が参加。
382	日本工業大学	幸手市児童館 サイエンスショー	令和2年	自治体（行政）			幸手市児童館の依頼により、サイエンスショーを実施。令和3年度は2022年2月12日に実験ショーと万華鏡製作を実施。親子5組が参加。
383	日本工業大学	エンジョイ！夏の学び場	令和3年度	民間企業	自治体（行政）		商業施設において、教員・学生が講師となって小学生に教える、学び場イベントに参加。3日間のうち環境教室・ロボット製作を行った。
384	日本工業大学	杉戸町立南放課後児童クラブにおける家具制作の協力	令和3年度	自治体（行政）			包括的連携協定を締結している杉戸町からの依頼で、役場と共同で児童クラブで使用する家具の制作を行った。
385	日本工業大学	高齢者のコロナワクチン接種予約手続きサポート	令和3年度	自治体（行政）			スマートフォンやパソコンが苦手な高齢者の新型コロナウイルスワクチン予約サポートを実施。2自治体から依頼を受けサポートを実施した。
386	日本工業大学	宮代町子ども向けイベントへの学生ボランティアの参加	令和3年度	自治体（行政）			宮代町が開催している子ども向けイベントにボランティアとして学生が参加。子どもたちと一緒に遊んだり、イベントの準備やサポートを行った。令和3年度は計3イベント（4日間）に参加した。
387	日本工業大学	さいたま市立大谷口中学校ロボット教室	令和3年度	幼保・小中・高等学校等			さいたま市で推進するSTEAMS教育を具体的に展開していくため、同校からの要請を受け、中学1年生を対象として、実機実習を伴う「ロボット工学」の基礎講座を実施した。当初12月と3月と2回の実施予定であったが、コロナにより12月の1回のみの実施となった。
388	日本工業大学	ハロウィン カボチャ作品コンテスト	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO再生可能エネルギー推進協会が主催するコンテストで、本学が後援した。宮代町の農園で採れたかぼちゃが使用され、作品の審査を本学教員が担当した。令和3年度は「かぼちゃEMOJI作品コンテスト」を実施。
389	日本工業大学	越谷市児童館での作品展示	令和元年度	自治体（行政）			本学学生が作成したインタラクティブアート（体を使って体験するアートやゲーム）の作品を、越谷市の児童館において定期的に展示している。平成元年より継続しており、令和3年度は、8月と12月の2回（計4日間）のイベント展示を実施し、約400名の子供たちや保護者の方に体験してもらった。
390	日本薬科大学	薬物乱用防止講演教室	平成22年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課、教育委員会）、埼玉県薬剤師会との連携を図り、健康や薬について、関東1都6県の高等学校が取り組んでいる生徒向けの「薬物乱用防止の研修会」に講師派遣などを行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による3校のキャンセルがあったが、講師派遣で47校、オンラインライブ配信で1校、DVDの提供で10校の計58校の講演教室を行った。
391	日本薬科大学	理科教員のための実践教養講座	平成23年	高等学校			高大連携事業の一つとして、高等学校の理科教育の質的充実を目的とし、埼玉県（教育委員会）の後援を得て、関東1都6県の高等学校の理科教員を対象として研究実習棟の実習室を使用して開催している。令和3年度は、「病原体を抑制、不活性化する物質とその科学」を開催した。
392	日本薬科大学	高校生一日薬剤師体験教室	平成23年	高等学校			埼玉県（保健医療部薬務課）と共催し、県内在住及び県内高校に通学する高校生を対象として研究実習棟4階の実習室、模擬薬局を使用して開催している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により開催を見送った。
393	日本薬科大学	子ども大学 あげお・いな・おけがわ	平成23年	自治体（行政）			上尾市、伊奈町、桶川市が共同で開講する子ども大学に聖学院大学と共に講義、実習をそれぞれの施設を使用して開催している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、本学担当講座は中止とした。
394	日本薬科大学	伊奈町学校開放講座	平成26年	自治体（行政）			①10月9日（土）：講座「しっとりつややかな肌のために」 ②11月20日（土）：講座「秋冬を快適に過ごすために」 ③12月4日（土）：講座「健やかに信念を迎えるために」

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
395	日本薬科大学	埼玉未来大学 (旧いきがい大学)	平成26年	自治体（行政）			講座「東洋医学に基づいた未病と健康」 6月22日（火）／7月15日（木）／7月21日（水）／1月14日（金） 1月24日（月）／1月25日（火）／1月26日（水）／1月27日（木） 講座「未病と健康」 7月2日（金）／7月7日（水）
396	日本薬科大学	公民館講座	平成28年	自治体（行政）			①7月27日（火）：講座「みんなで守ろう！家族の健康」 ②11月8日（月）：講座「新型コロナウイルスの最新情報」 ③11月15日（月）：講座「体質を考えてコロナ感染を予防しよう」 ④12月1日（水）：講座「知って得するお薬の話し」
397	日本薬科大学	健康講座	平成28年	自治体（行政）			①10月2日（土）：講座「今こそ学ぶワクチンの基礎」 ②10月16日（土）：講座「脳の予備脳を高めて健やかな心と体」 ③10月23日（土）：講座「薬の副作用と飲み合わせを考える」 ④10月30日（土）：講座「スポーツ科学と健康寿命の延伸」 ⑤11月13日（土）：講座「薬木・薬草を知って健康維持」 ⑥12月4日（土）：講座「糖尿病の予防と対策」 ⑦2月5日（土）：講座「生活習慣病の予防」
398	日本薬科大学	市民大学	平成28年	自治体（行政）			①11月12日（金）：講座「東洋医学に基づく栄養の摂り方」 ②11月18日（木）：講座「賢い薬局の利用方法その2」 ③12月16日（木）：講座「コロナウイルスとワクチンについて」 ④1月7日（金）：講座「ワクチンについて」
399	日本薬科大学	大学授業開放講座	平成28年	自治体（行政）			埼玉県知事と本学学長とが協定書を交わし、埼玉県福祉部長と本学学部長とが覚書を交わしたに基づき実施している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、全ての開放講座をオンライン配信とし、前期は4講座を開放し、延べ4名が受講、後期は3講座を開放し、延べ3名が受講した。
400	日本薬科大学	連携高校の生徒に対する実習	令和元年	高等学校			高校生生化学実習 10月3日（日）／10月24日（日） 高校生天然物化学実習 1月23日（日）／1月29日（土） 県立常盤高校出張実習・特別講義 8月23日（月）／8月26日（木）／10月19日（火） 順天高校特別講義 11月15日（月）～19日（金） 9月14日（火）／10月5日（火）／10月26日（火）／11月5日（金） 11月9日（火）／11月30日（火）／1月11日（火）／1月18日（火） 2月8日（火）／2月15日（火）
401	人間総合科学大学	蓮田市地域福祉計画策定委員会	令和3年度	自治体（行政）			地域福祉計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
402	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和3年度	自治体（行政）			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。さいたま市の4～6年生が対象で、「パラスポーツを知ろう」をテーマとして、2名の教員が講師となり義足の授業と模擬義足体験・パラスポーツ体験を実施した。
403	人間総合科学大学	さいたま市 給水スポット実証実験	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用を抑制するとともに、産学官の連携による取組を広げていくことでプラスチックごみの削減を推進し、もって全世界共通かつ喫緊の課題である、プラスチック問題の解決に寄与するため、学生にマイボトルを使って市内の給水スポットを利用することで、給水スポットの利便性や普及への課題などを抽出し、解決策を検討することを目的として行った。
404	人間総合科学大学	さいたま市タウンミーティング	令和3年度	自治体（行政）			参加者なし
405	人間総合科学大学	蓮田市商工会いきいき街づくり委員会	令和3年度	産業界（企業等）			梨を使った特産品の開発を行っている。
406	人間総合科学大学	蓮田市蓮田ブランド推進協議会	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内に存在する地域資源、蓮田から想起される都市イメージ等に一体的なストーリー性を持たせ、それらを包括したものを蓮田ブランドとして確立するための調査検討並びにブランドの浸透及び推進に係る方法について協議等を行う
407	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用した ランチメニューの開発・販売	令和3年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では5年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度は3店舗でテイクアウトメニューを販売した。
408	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和3年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
409	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和3年度	自治体（行政）			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チームEat All」事業に参加している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
410	人間総合科学大学	岩槻タウンカフェ	令和3年度	自治体（行政）			岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域の自主的かつ主体的に実践できるようなアイデアを出し合う意見交換の場として開催。「岩槻区の特徴と課題」をテーマに、4校20名の学生・教員が参加した。
411	人間総合科学大学	さいたま市主催 第10回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和3年度	自治体（行政）			さいたま市内及び近隣に所在する12大学で構成する「大学コンソーシアムさいたま」に加盟する大学の学生が、さいたま市の発展に寄与する政策や事業について自ら企画・提案するフォーラム。「農業を通して健康の輪を広げよう！」「食品ロス削減」をテーマに2チームが参加した。
412	人間総合科学大学	ひなまつり(総合文化芸術祭・まちかど雛めぐり)	令和3年度	自治体（行政）			2月26～28日開催を予定していたが、コロナによりイベントは中止としたが、屋外展示のひな人形の階段飾りのみそのまま行った。予定していたイベントの音楽フェスティバルを無観客で行い、その模様をYouTube配信した。
413	人間総合科学大学	蓮田市 市民大学	令和3年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「健康食と料理について」をテーマに講義を行った。
414	人間総合科学大学	蓮田市 子ども講座	令和3年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座で、子どもでも安全に作れる料理の動画を撮影した。今後配信の予定。
415	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体（行政）			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 ※令和3年度はCOVID-19感染防止のため大学での企画は実施せず
416	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 ※令和3年度はCOVID-19感染防止のため実施せず
417	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 令和3年12月11日(土)「聞いてみよう、鳴らしてみようー音と振動のなぞ」 NPO埼玉たのしい科学ネットワーク講師 ※令和3年度はCOVID-19感染拡大期を避け、時期を変えて実施した。
418	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数講座のうち、希望する1講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和3年度コロナ禍のため実施は見送り。
419	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体（商店会）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どものための交流を図る駄菓子屋を運営している。令和3年度はコロナ禍のため実施は見送り。
420	文京学院大学	都市一農村交流による福島再生プロジェクト	平成18年度	地域団体（協議会、農家団体）	自治体（行政）	大学（大学間連携）	東北大震災後の福島の農村・農業を活性化するグリーンツーリズムを実施。都市と農村の住民が相互交流することで福島の農業を支援していく活動。令和3年度はコロナ禍のため実施は見送り。
421	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和3年度はコロナ禍のため対面活動は見送ったが、学生が主体的に関わる非対面での活動に取り組んだ。学生が作成したものを送り届ける形で「手紙での交流」や「季節の壁面装飾制作」を行った。また、令和3年7月豪雨被害にあった静岡県熱海市に対して、非対面型災害義援金募金活動を実施した。
422	文京学院大学	市民大学ふじみ野	平成14年度	自治体（行政）			平成14年の「町民カレッジ」を初期として、以来ふじみ野市との連携で、「市民大学ふじみ野」と名称を変え、ふじみ野市を中心に市民に対する公開講座を開講して来た。令和3年度コロナ禍のため実施は見送り。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
423	文京学院大学	公開講座 ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体（行政）			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和3年度はコロナ禍のため実施は見送り。
424	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体（行政）			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和3年度もコロナ禍により11月8日～30日までオンデマンド配信（YouTube）し、11月28日（日）にはライブ配信により実施。
425	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催 公開講座	平成14年度	自治体（行政）	淑徳大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和3年度はオンライン講座として実施。「くらしを楽しむおうちアート～光や風とあそぶ～」をテーマに10/2文京学院大学、10/16淑徳大学として2日間の公開講座を行った。
426	文京学院大学	彩の国大学コンソーシアム	平成14年度	自治体（行政）	大学・短大 （大学・短大間連携）		埼玉県内にある13の大学が連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展を図るとともに、生涯学習や地域貢献を目的として公開講座を開講する。令和3年度は、コロナ禍のため対面での公開講座の実施は見送ったが、教職員対象の研修会（オンライン研修会）は3月14日（月）に2コマ実施した。（講師は、城西大学、東邦音楽大学）
427	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成25年度	自治体（行政）			子ども大学ふじみ野は「まなびでつながりひろがる人と地域を育むまちふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和3年度はコロナ禍のため「学校では学べないDX最前線！！」をオンライン（Zoom）にて実施した。
428	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和3年度は「公務キャリア特講（2年後期）」の授業において、市役所の全部署のご担当者様から対面により講義を実施した。
429	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和3年度はコロナ禍のため実施は見送り。
430	文京学院大学	文京学院大学と中京学院大学との相互交流に関する協定・覚書	平成29年度	中京学院大学			学生交流として、両大学の学内行事、課外活動、地域社会との連携活動、サークル活動等を通して学生の教育や諸活動を支援し、学生間交流の活性化を目指す。教員交流として、両大学での要請に応じて共同研究の実施、学士教育の改善に資する意見交換や研修等を通して幅広い交流を図る。 事務職員交流として、事務職員の資質向上、学生支援の改善に資するため、相互訪問や相手大学の研修会への参加、行事への参加等を通じて幅広い交流を図る。令和3年度はコロナ禍のため対面での交流は中止、オンライン学園祭で双方交流を行った。
431	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	自治体（行政）			学生がふじみ野市役所を訪問。市役所の仕事等をご説明をいただき、公務員の仕事への理解を深めることを目的として実施。令和3年度コロナ禍のため実施は見送り。
432	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界（地元企業）			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和3年度コロナ禍のため実施は見送り。
433	文京学院大学	インターンシップ	令和元年度	自治体（行政）			大学の所在地であるふじみ野市にてインターンシップの受け入れを依頼。令和3年度コロナ禍のため実施は見送り。
434	文京学院大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短大 （大学・短大間連携）	自治体（行政）		令和3年度もほとんどの事業がオンラインで行われた。令和3年度は、9月14日（火）に共同FD・SDをオンラインで本学と西武文理大学、福島県郡山市の3か所より同時中継配信を実施、9月25日（土）にはオンライン公開講座を本学とふじみ野市立介護予防センターより配信した。11月23日（火・祝）には、東松山クリーンウォークを実施、学生・教職員8名が参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
435	文京学院大学	おうちゃ時間プロジェクト	令和2年度	産業界（地元企業）			コロナ禍の影響により人々の生活に変化が生まれたことをきっかけに、「人との繋がりを大切にしながらほっとする時間を作りたい」と話し合いを続け令和2年度に「おうちゃ時間プロジェクト」を立ち上げ、埼玉県ふじみ野市の松澤園様と連携し社会貢献活動を行ったが、令和3年度は連携先が変更となり埼玉県の事業者との連携は実施なし。
436	文京学院大学	ふじみ野市 大井亀久保地域活動継続プロジェクト① 芸術でさぐる地域のすがた	令和3年度	市内小・中・高	Saitama Muse Forum / 東京電機大学 柴山ゼミ	ふじみ野市役所	造形、音楽の各分野のアーティストを招聘し、オンライン講義で作業を進行。 【造形】「5年後のふじみ野市」をテーマに市内小中高生からデザイン画を募集し、当校学生がカレンダーを編集作成、市内関連施設に配布。地域の学生が思い描く5年後のふじみ野市の姿を地域住民と共有することで、コロナ禍での地域住民のつながりに貢献。【音楽】ふじみ野市内で収集した生活の様々な音を素材に、東京電機大学柴山ゼミ院生と電子音楽を作成。鑑賞会を行い、今後、学園祭などで公開できるものとした。
437	文京学院大学	ふじみ野市 大井亀久保地域活動継続プロジェクト② 地域の衣食住取材・発信企画	令和3年度	ふじみ野市内企業	ふじみ野市内市民活動団体	ふじみ野市役所	アフターコロナ期に向けて、当校周辺地域の衣食住をテーマとし、地域人材・知財発掘、地域交流の機会を定期的に設けることで、地域関係者の交流を促し、新たな関わりと未来への展望を生み出すことに貢献する。地域の商店主や住民、市民活動団体に電話・オンライン取材をし、子どもから大人まで楽しめる地域新聞を編集、近隣小中学校に配布することで、ふじみ野の魅力発信した。
438	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
439	武蔵野音楽大学	埼玉県 西部地区音楽祭	昭和55年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
440	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成10年度	産業界（企業等）			R3年度コロナにより中止
441	武蔵野音楽大学	入間市立西武中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
442	武蔵野音楽大学	入間市立野田中学校合唱祭	平成21年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
443	武蔵野音楽大学	入間市立藤沢中学校合唱祭		幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより中止
444	武蔵野音楽大学	日高市教育委員会「新春ファミリーコンサート」	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		R3年度コロナにより中止
445	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
446	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成28年度	産業界（企業等）			R3年度コロナにより中止
447	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート「武蔵野音楽大学の名手たち」	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学大学院の学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
448	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
449	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全9回・18講座を実施している。 令和3年度は6校と学校間連携協定書を締結し、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
450	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携して、ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
451	武蔵野学院大学	インターンシップ	平成28年	自治体（行政）	産業界（企業等）		正規授業である「インターンシップ」の授業を産学官連携によるPBL(Project-Based Learning)型で実施している。 狭山市の企業が抱える課題を学生がグループで解決する中で学びを深めるという授業内容で、学生の学び(教育的価値)だけでなく、企業の課題解決(経済的価値)と狭山市の課題解決(社会的価値)を同時に実現することを目指している。 市職員の方々には、事業所の紹介や学生への講和等でご協力いただいております。産学官三位一体のプロジェクトとして推進している。
452	明海大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども（4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
453	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
454	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医、SALA（埼玉県大学・短期大学図書館協議会）加盟館の学生及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
455	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都圏で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに連れ、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
456	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び女子栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など）及び大規模災害時（避難所等での支援活動など）の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
457	ものづくり大学	おもしろものづくり教室	平成20年度	自治体（行政）			行田市民の小学生を対象に、ものづくりの楽しさや面白さを実感してもらう。また、ものづくり大学の「技術および知的資源」を活用した事業を実施することにより、行田市における教育環境等の充実に寄与することを目的とする。 R3年度コロナにより中止
458	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体（行政）	その他		本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。 R3年度：開学20周年記念事業特別公開講座として、11月1日（月）ものづくり大学体育館で実施。「ポストコロナ時代の日本の針路～ものづくりという基軸～」（寺島実郎氏）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
459	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		<p>大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。</p> <p>R3年度：緊急事態宣言の発令等を受けて、全6回のうち3回を中止、1回を延期して実施した。</p> <p>7月10日（土）入学式、「どんなかたちが強いかな？～ペーパーブリッジコンテスト～」</p> <p>7月17日（土）「報道のプロからニュース作りを学ぼう」</p> <p>11月14日（日）「行田は水の始発駅～水の旅の行く先は～」 「『人にやさしい』文房具をデザインしよう」</p>
460	ものづくり大学	マンガカーレース大会	平成14年度	自治体（行政）	その他		<p>日本機械学会関東支部埼玉ブロックとの共催、行田市教育委員会の後援により実施している。</p> <p>電池を使用した簡易な車の模型を作成し、コースで走らせることで、小学生に“考えて作る”機会を与え、ものづくりの楽しさを実感してもらうと同時に、工夫して機械の性能向上を考察する体験を通じて科学技術への興味を促している。</p> <p>一方で、イベントの企画運営・小学生への指導などを大学生主導で行わせることにより、ものづくり活動の疑似体験、および社会に貢献する満足感を与え、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。</p> <p>R3年度コロナにより中止</p>
461	ものづくり大学	みんなで作る公園整備事業	平成16年度	自治体（行政）			<p>本学で制作した東屋等を無償で行田市に提供している。</p> <p>R3年度： 東屋2基を提供 行田市内の城西公園、八幡山公園に設置</p>
462	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		<p>行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣</p> <p>R3年度： 5月27日（木）：クルマと社会の過去と未来を覗く 6月7日（月）：郷土の歴史「忍領に残る歴史遺産」 6月24日（木）：まちづくり-2～地域を知ってアイデアを出そう 7月15日（木）：元気の出る街づくり-1 11月25日（木）：見て感じて理解する日本の建築-美術館、博物館をめぐる-</p>
463	ものづくり大学	夏休み体験教室	平成28年度	その他			<p>ユニクス鴻巣管理事務所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が木の写真立ての製作を指導した。</p> <p>R3年度コロナにより中止</p>
464	ものづくり大学	子ども大学こうのす	平成25年度	自治体（行政）			<p>大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。</p> <p>R3年度コロナにより中止</p>
465	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			<p>鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。</p> <p>R3年度コロナにより中止</p>
466	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	企業	<p>授業製作物である東屋やベンチ、遊具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。</p>
467	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			<p>3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。</p> <p>R3年度： 2月10日（木）三大学合同研究発表会（大雪によりオンデマンド形式に変更） 埼玉純真短期大学との共同研究プロジェクトとしてキッズハウス3棟制作</p>
468	ものづくり大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	<p>3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力を促進することを目的とし、協定を締結した。</p> <p>R3年度： 11月8日（月）彩北未来プロジェクト会議</p>

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
469	ものづくり大学	リカレント教育	平成22年度	自治体（行政）			県と大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。 R3年度、前期・後期ともにコロナにより中止
470	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受入れなどを行っている。 R3年度コロナにより中止
471	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施 R3年度コロナにより中止
472	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ R3年度コロナにより中止
473	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
474	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をする意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。なお、コロナの影響によりR2年度に実施できなかった学生も含めてR3年度に実施した。 R3年度は、515人の学生が就業体験の機会をいただき、受入企業総数263社のうち県内企業143社においてインターンシップを行った。
475	ものづくり大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成26年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業。高校生が普通の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的とする。対象は、埼玉県の高校で学ぶ生徒及び高校教員。 R3年度コロナにより中止
476	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受入れを実施。 R3年度：11月飯能南高校2年生（20名） 11月越谷総合技術高校2年生（32名）
477	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 R3年度：岩槻北稜高校2年生（2名）：11月15日～18日 大宮工業高校2年生（8名）：11月17日～18日
478	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらおうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業がその一助なることを願っている。 R3年度コロナにより中止
479	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生・大学生共同プロジェクト		幼保・小・中・高等学校等			高校生・大学生による共同プロジェクト事業。鴻巣高校、鴻巣女子高校の美術部と協働し、鴻巣駅の自由通路にフラワーデザインアートを制作。
480	ものづくり大学	鴻巣市内公共施設の施設用品の製作・修繕	令和3年度	自治体（行政）			鴻巣市の公共・教育施設等から依頼を受け、卒業制作の一環として、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」の展望台デッキ、ベンチ、木柵および放課後児童クラブの勉強机などの製作・修繕に取り組み、寄贈した。
481	ものづくり大学	羽生市の商店街活性化プロジェクトに参加	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）		羽生市の商店街活性化実行委員会「MALL DESIGN」に、建設学科の岡田研究室、田尻研究室がアドバイザーとして参加。岡田研究室は、商店街の調査、拠点やまちづくりに関するデザインアドバイスを行った。田尻研究室は、住民の商店街に対する意識調査、商店街の課題抽出のためのヒアリング調査を行った。
482	ものづくり大学	戸田市の空き家の蔵改築、敷地活用計画	令和元年度	その他	産業界（企業等）		研究の一部に文部科学省科学研究費の助成を受け、取り組んでいる。 埼玉県戸田市の空き家の蔵改築、敷地活用を計画し、住宅の機能を保持し、固定資産税の軽減を図り、敷地と一体の暮らしを実現する「蔵住宅」を提案、設計・施工を継続する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
483	ものづくり大学	埼玉県戸田市の木造空き家改修	令和元年度	その他			研究の一部に文部科学省科学研究費の助成を受け、取り組んでいる。戸田市の空き家改築にあたり、大学の木造系実習で使用した古材と新材の特性を見極めた加工の工夫を実践した。
484	ものづくり大学	SNSの利用が刊行来訪者の観光地選定に及ぼす影響に関する基礎的研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課および長瀬町観光協会と共同で取り組んでいる。SNSにおける来訪前後の観光地評価を調査し、今後のSNSの観光宣伝ツールとしての宣伝効果と効果的な展開方法を検討した。
485	ものづくり大学	長瀬町における観光事業者のSNS投稿がSNS利用者に及ぼす影響に関する基礎的研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町産業観光課および長瀬町観光協会と共同で取り組んでいる。SNS投稿の影響度を可視化する「いいね」機能を活用し、長瀬町の観光事業者のSNS投稿に「いいね」をしたInstagram利用者を対象に投稿閲覧前後の意識や行動について調査を実施した。
486	ものづくり大学	コロナ禍の長瀬町におけるマナー意識と評価に関する基礎的研究	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課および産業観光課と共同で取り組んでいる。コロナ禍における観光地評価や観光者相互のマナーに対する評価を調査分析し、観光者間のマナー評価が観光産業へ及ぼす影響を明らかにすることでマナー評価向上へ向けた分析を行う。
487	ものづくり大学	長瀬町の移動支援サービスの導入に関する基礎的検討	平成29年度	自治体（行政）			長瀬町企画財政課と共同で取り組んでいる。2017年から行われた一連の取り組みによる地域住民の公共交通に対する意向を調査・分析し、高齢者における交通サービスの認知度と利用拡大に向けた施策について基礎的な検討を行った。
488	ものづくり大学	東松山市内の社寺建築悉皆調査	平成30年度	自治体（行政）	その他		官学連携事業として、東松山市内野本地区の社寺建築悉皆調査を行った。あわせて青鳥山妙昌寺祖師堂厨子、巖殿山正法寺観音堂、東崎山世明寿寺観音堂の実測調査、図面制作を行った。
489	ものづくり大学	「熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム」プロジェクトへの参加	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）		熊谷市のまちづくり（事業）の一環として、星川通りの活性化を目的に、空き店舗をリノベーションし、若年層を主とした人が集まりやすい店舗を計画し施工を行った。
490	ものづくり大学	行田市今津印刷所土蔵の建物調査及び図面制作	令和3年度	自治体（行政）	その他		行田市内の今津印刷所土蔵の建物調査および図面制作を行った。
491	ものづくり大学	行田市歴史的建造物中島家住宅石蔵の調査・図面制作	令和3年度	自治体（行政）	その他		行田市内の中島家住宅石蔵の建物調査および図面制作を行った。
492	ものづくり大学	鴻巣市圓通寺山門の建物調査及び図面制作	令和3年度	自治体（行政）	その他		鴻巣市内の圓通寺山門の建物調査及び図面制作を行った。
493	ものづくり大学	東松山市材木町一丁目の屋台調査及び図面制作	令和3年度	自治体（行政）			八雲神社大祭で使用されるお囃子屋台の調査と図面制作を行った。
494	ものづくり大学	鴻巣市の宗像神社社殿建物調査・図面制作	令和3年度	自治体（行政）	その他		鴻巣市の宗像神社本殿の建物調査および図面制作を行った。
495	ものづくり大学	秩父神社社殿に施された彩色技法の調査研究	令和3年度	自治体（行政）	その他		秩父市の秩父神社の社殿彫刻「つなぎの龍」の見取り復元図を制作した。
496	ものづくり大学	無人野菜販売所の制作	令和3年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			鴻巣市内のケアセンター3か所に無人野菜販売所を制作し、各施設に寄贈した。
497	ものづくり大学	鴻巣市における上尾道路開通を踏まえた商店街の現状把握における研究	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		鴻巣市中山道商店街における事業所の商形態や後継者問題をはじめ、空き店舗や低利用地の現状を把握するため活性化事業の事前調査を行った。
498	ものづくり大学	「こうのす花まつり」の来訪者意識と評価に関する調査	令和3年度	自治体（行政）			こうのす花まつりの中心的な催事であり、ポピー畑体験が主体となっている馬室会場及び吹上会場の来訪者に、来訪意識とイベント評価に関する調査を行った。
499	ものづくり大学	羽生市における河川災害と地域コミュニティに着目した防災対策の基礎的研究	令和3年度	自治体（行政）			羽生市の住民の防災能力や意識、地域コミュニティの現状等を把握するとともに防災意識とコミュニティの関連性を再確認し、住民の防災意識向上を目的とした防災対策の基礎的検討を行った。
500	ものづくり大学	羽生市とまり木パークプロジェクトに調査協力	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		地域経済循環の活性化と公園の新たな魅力・価値を生み出すことを目的とした公民連携事業に 自衛研究室が参加し、公園来訪者や出店者に対して意識調査を行った。
501	立教大学	にいざプラスカレッジ（旧新座市民総合大学）	平成12年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会主催。市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）が2学部3学科を開学し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
502	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会から委託を受け、市民向けに、「公開講座」「スポーツ教室（野球・サッカー・バレーボール・乗馬）」「クリスマスコンサート」などを開催している。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講中止。
503	立教大学	中山間「ふるさと支援隊」（横瀬町、小川町）	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっています。埼玉県では、平成22年度から大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をしています。
504	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、富士見市の子ども30名を対象に、学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的とし、様々な授業を展開している。※令和3年度内容は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
505	立教大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的とし、「乗馬教室」などを開催している。※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
506	立教大学	インターンシップ	平成11年度	自治体（行政）			官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防を優先し、対象企業の制限を行った。
507	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	産業界（企業等）			本学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講している。激変する経営環境に対応した戦略的経営に必要な資質を向上させるための教育プログラムである。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っている。
508	立教大学	彩の国アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	自治体（行政）			新座市により、アスポート学習支援事業（運営：一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク）が展開されている。大学から「RSL（立教サービラーニング）」科目においては、生活保護受給世帯の中高生を対象とする学習支援事業の方針を理解したうえで学生を派遣し、事業運営団体は本学科目の運営方針を理解したうえで学生を受け入れている。
509	立教大学	地域児童の大学への招待	平成21年度	その他			ボランティアセンターが主催となり、学生ボランティア団体が日常の活動で訪問している新座キャンパス近隣の放課後児童保育室（学童保育）の児童を大学に招待する企画を実施している。学生ボランティア団体が共催となり、夏休み（8月上旬）の2日間、遊びのプログラム提供、簡単な工作教室を行っている。令和3年度はコロナ禍で中止。
510	立教大学	バリアフリー映画上映会	平成21年度	その他			新座市、新座市社会福祉協議会、志木市の後援により、有志の学生実行委員会、ボランティアセンターと市民団体の協力のもと、障がいがあっても誰もが参加できる映画会を行っている。学生が役割分担をして、バリアフリー対応として音声ガイド、手話通訳、文字通訳、最寄り駅から大学までの誘導案内など丁寧にやっている。広く新座市民（特に、映画に行きにくい生活状況下にある方々）に来場を呼びかけ、地域貢献の一助としている。
511	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	産業界（企業等）			埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し様々な活動を行っています。事例として、地域活性化を目的として、まち歩きMAPを本学観光学部生が作成しています。『ぶらって幸手』から始まり、羽生、行田、加須、氷川参道、新座、小鹿野、秩父、川越などを制作を続けていて、令和4年度は「ぶらって草加」を作成中です。
512	立教大学	市内3大学学生と市長との懇談会	平成9年度	自治体（行政）			柔軟な思考で斬新なアイデアの提案が期待できることから、大学生が市政に対する提言等を新座市長にするというもの。市内にある三つの大学に通学する学生を対象に、懇談会形式で実施しています。令和元年度は「新座市のブランドイメージの向上や魅力を発信するためにどのようなイベントを企画してみたいか」をテーマに学生が提案をしました。令和3年度はコロナ禍で中止。
513	立教大学	水泳教室	昭和47年度	その他			令和4年度で50回目を迎える水泳教室です。毎年8月の夏休み期間を利用して、近隣の3～12歳の子供たちを対象に、体育会水泳部が水泳教室を行っています。期間中の延べ1,000名近くが参加する人気の企画です。平成27年度より、屋内プールになり、天候に影響の受けません。令和3年度はコロナ禍で中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
514	立正大学	立正大学オープンカレッジ	昭和42年度	自治体（行政）			熊谷市と、その周辺都市の住民を対象に毎年前期後期にそれぞれ4-5回の講座を開催しております。講師陣は立正大学全9学部（仏教・文学・経済・経営・法学・福祉・地球・心理・データサイエンス）の各学部より1名ずつ出しています。
515	立正大学	立正大学デリバリーカレッジ	平成20年度	自治体（行政）			地方の自治体と共催で、毎年春と秋に地域住民を対象にした講座を開催しております。講座の内容は宗教、文学、歴史、社会、経済、経営、法律、福祉、環境、心理などさまざまな分野に及んでおります。 【令和3年度開催都市】 三郷市（埼玉県）、筑西市（茨城県）、座間市、茅ヶ崎市（神奈川県）、千葉市（千葉県）、郡山市（福島県）、佐野市（栃木県）、高崎市（群馬県）全8都市
516	立正大学	子ども大学くまがや・なめがわ	平成22年度	自治体（行政）			子どもたちの素朴な疑問や知的好奇心を満足させるため、様々な分野での学びの機会を提供することを目的としております。熊谷市・滑川町の小学生4年生から6年生を対象に、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」について大学の先生や専門の方たちで、わかりやすい授業を心がけております。
517	立正大学	子ども大学ベアリス☆ひがしまつやま	平成30年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		埼玉県、東松山市、社会福祉法人などと連携し、特別支援学校・学級に通う生徒児童を対象に、公教育では経験できない学びの機会を提供しています。（R3年度コロナにより中止）
518	立正大学	立正大学ラグビーフェスティバル	平成20年度	自治体（行政）			市民へのラグビー普及とラグビーを通じた交流、および幼稚園児や小学生などへの指導による学生の社会貢献と人間的成長を目指すために開催しております。（R3年度コロナにより中止）
519	立正大学	直実市民大学	平成22年度	自治体（行政）			熊谷市から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
520	立正大学	埼玉未来大学	平成23年度	その他			埼玉未来大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、県の生涯学習を支援しています。
521	立正大学	桶川市民大学	平成21年度	自治体（行政）			桶川市から講師依頼を受け、桶川市民の方々に大学生の気分を味わってもらうため、立正大学の教員が講師を勤める講座は熊谷キャンパスで開催しております。
522	立正大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）			行田市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
523	立正大学	ちちぶ学セミナー	平成30年度	自治体（行政）			秩父市からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。
524	立正大学	くましん立正大学ジョイント・カルチャー教室	平成23年度	産業界（企業等）			熊谷商工信用組合との共催で市民に向けた講座を開催。講演の内容については、本学の9学部の特性を活かし文学、歴史から環境、心理に至るまで、幅広い分野になるよう心がけております。（R3年度コロナにより中止）
525	立正大学	産学官連携まちづくりフォーラム	平成18年度	自治体（行政）			熊谷市と共催して地域との関わりについての話題を通して、新たな産業を生み出す力（産業力）を探ることを目的として、市民および企業関係者を対象にフォーラムを開催しています。
526	立正大学	日本酒制作プロジェクト	平成26年度	産業界（企業等）			熊谷市で唯一の酒造メーカーである「権田酒造株式会社」と連携し、本学学生がオリジナル日本酒を作成しました。2015年度には熊谷市のふるさと納税贈答品に採用されました。
527	立正大学	まちなかりノベーションプロジェクト	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		学生の視点から地域活性化、魅力ある街づくりを提案し、空き店舗を活用して中心市街地に若者を呼び込み、賑わいを創出することを目的に、東松山市、近隣大学学生が連携して街づくり企画を行っています。（R3年度コロナにより中止）
528	立正大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東上地域の大学・自治体・企業と共に、「多様な高等教育の提供」、「生活しやすい地域づくりへの貢献」、「地域産業の活性化」を図ることを目的としています。
529	立正大学	比企地域等大学連携	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と共に、3大学、2短大と比企地域の活性化を図ることを目的としています。
530	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 （ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察） ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
531	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
532	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
533	早稲田大学	さやま市民大学 早稲田大学連携 健やかいきがい講座	平成18年度	自治体（行政）			<p>「R3年度コロナにより中止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施 ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員30名
534	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体（行政）			<p>所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。</p> <p>実習内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
535	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体（行政）			<ul style="list-style-type: none"> ●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
536	早稲田大学	大学院環境エネルギー研究科・本庄高等学院による本庄ユニラブ事業（こども科学実験教室の開催）	平成16年度	自治体（行政）	小・高等学校等		<p>大学院教員および学生、本庄高等学院教員による本庄市および周辺地域への小学生児童を対象とした科学実験教室の開催。</p>
537	早稲田大学	本庄市市民総合大学への支援	平成22年度	自治体（行政）			<p>本庄市が主催する市民を対象とした生涯教育事業「本庄市市民総合大学」において、会場の提供および講師紹介をおこなっている。</p>
538	早稲田大学	神川町小学生児童を対象とした国際交流プログラムの実施	平成31年度	自治体（行政）	財団法人	小・高等学校	<p>公財）本庄早稲田国際リサーチパークならびに早稲田大学、児玉郡神川町教育委員会が主催する神川町小学生を対象とした国際交流プログラム「グローバルキャンピングin 神川」の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プログラムの企画運営を公益財団法人本庄国際リサーチパークが担当 ●早稲田大学の留学生が講師になり、本庄高等学院の生徒が児童の学習をサポート <p>留学生の出身国の文化や言語習得、英語でのゲーム等を通じて大学生との交流や異文化理解を深めることを目的とする。</p>
539	早稲田大学	本庄市内小学校での総合学習支援事業	平成31年度	小・高等学校等			<p>早稲田大学本庄高等学院の教諭、生徒が本庄市内小学校に訪問し、総合学習の時間において理科・エネルギー等の講義・実験を通じて科学への理解と交流を図る事業。</p>
540	早稲田大学	秩父市を中心とした「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 実証実験」への参画	令和2年度	自治体（行政）	企業		<p>2020年10月 秩父市が採択された令和2年度 Society5.0「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業 調査・設計業務委託」に、大学院環境エネルギー研究科 小野田弘士教授が開発した多目的小型自動運転EVを提供するなど実証事業に参画</p>
541	早稲田大学	東京パラリンピック、トルコ共和国テコンドーチームの本庄市合宿受入に係る協力事業	令和2年度	自治体（行政）	トルコ共和国		<p>本庄市のトルコ共和国パラリンピック・テコンドーチーム受入に係る協力事業として、3者間で覚書締結し受け入れの計画をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本学セミナーハウスを宿泊所として（最終的にコロナ禍で中止） ●高等学院学院生のボランティア協力（最終的にコロナ禍で中止）
542	早稲田大学	本庄市と早稲田大学文化推進部による文化遺産展示施設「本庄早稲田の杜ミュージアム」の運営事業	令和2年度	自治体（行政）			<p>早稲田大学（担当：文化企画課）と本庄市による協働事業として、施設改修費を大学が負担し、運営コストを本庄市がもち2020年10月15日に開館。名誉館長は本学理事の渡邊 義浩。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●常設展示内容の企画・運営 ●企画展、ワークショップ、講座等の運営

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
543	放送大学埼玉学習センター	放送大学・さいたま市宇宙劇場コラボレーション特別講演会	令和2年度	公共施設			放送大学埼玉学習センターとさいたま市宇宙劇場とのコラボレーションによる講演会。さいたま市宇宙劇場プラネタリウムを会場として、宇宙や星座にまつわる内容の講演を行っている。令和3年度は、9月5日に「みぢかな宇宙と想像外の宇宙」（講師：井上直也放送大学客員教授）というテーマで開催した。
544	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			5～10月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）、パソコンの講座を開設。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
545	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	自治体（行政）			10～3月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学（英語・中国語・韓国語）の講座を開設。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
546	秋草学園短期大学	子ども大学ところざわ	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県、所沢市、市内の大学とが連携して、小学4～6年生の子どもたちが大学で学ぶ機会を提供する。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
547	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、5～12日間程度で実施している。修了後単位が付与される。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
548	秋草学園短期大学	地域活動（ボランティア）	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位（4単位）が付与される。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外部への派遣なし。
549	秋草学園短期大学	所沢市地産地消推進事業 所沢農産物応援隊	平成28年度	自治体（行政）			所沢市内で生産される農産物の魅力を市内外にPRする「農産物応援隊」として、年間を通じて各地で開催されるイベントに有志学生が参加。 令和3年度は活動実績なし。
550	秋草学園短期大学	地域交流活動	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			新所沢団地自治会と文化表現学科学生との連携。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。
551	秋草学園短期大学	埼玉県西部地域魅力発見プロジェクト	平成30年度	自治体（行政）			平成31年2月15日（金）に埼玉県西部地域振興センター主催でおこなわれたバスツアーに、地域保育学科の学生6名が参加。他の大学の学生と共に、埼玉県西部地域の企業等を訪問し、その魅力を体験した。今後もSNSを通して地域の魅力を発信するため「西方見聞大使」に任命をされた。 10月2日にプロジェクト会議へ参加。
552	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」“夢”プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
553	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体（行政）	産業界（企業等）		学生約70名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視聴覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
554	秋草学園短期大学	空飛ぶ音楽祭	令和3年度	自治体（行政）			公益財団法人所沢市文化振興事業団共済の「空飛ぶ音楽祭」の実行委員会に学生も参加し、フェスティバルのロゴや運営の仕方について意見述べた。
555	秋草学園短期大学	「安心・安全な地域づくり」事業	令和4年2月25日	所沢警察署			埼玉県警所沢警察署と包括連携協定を結び、安全・安心な地域を作るための取り組み（オレオレ詐欺防止キャンペーンのためのポスター・チラシ作りと市民へのPR活動、西武鉄道・西武遊園地に於ける救難訓練の実施 等）を行っている。
556	秋草学園短期大学	「教育・文化振興」事業	令和3年度	角川武蔵野ミュージアム			角川ミュージアムのスタッフによる本学授業への講師招聘を実施。角川ミュージアムにおける本学イベントの実施及び角川ミュージアムの各種イベントへの本学学生の協力等。
557	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	自治体（行政）			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の18歳以上（学生を除く）の方を対象に学びの機会を提供しているが、R3はコロナにより一時中止。
558	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま 加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大（大学・短大間連携）			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）に参加している。本学では5つの講座を予定したが、R3はコロナにより4つの講座を一時中止し、1講座は対象を本学学生のみとして実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
559	国際学院埼玉短期大学	「ミニ西区」学生による地域ボランティア活動	平成30年度				R3はコロナにより一時中止
560	国際学院埼玉短期大学	全国調理師養成施設協会共催公開講座 食育教室2021	平成27年度	自治体（行政）			全国調理師養成施設協会との共催で、小学生を対象に食育をテーマとした公開講座をオンデマンドで実施した。 「親子で作ろう！県産食材で楽しくつくるパンケーキ」 オンライン開催 12月10日から1月20日まで 本学ホームページ・You Tube掲載
561	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園（所）・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。 令和3年度は、前年同様、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、応募作品点数をこれまでの半数に制限するとともに、表彰式、作品展示の実施を見合わせ、応募作品は、厳正な審査を経たうえで、本学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
562	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、調理・試食審査ならびに大学祭での提供は見送り、レシピ審査を行って審査員による試食会を開催した。
563	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		さいたま市農業青年協議会の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。また、今年度の実施は叶わなかったが、収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭（大学祭）やさいたま市農業祭において販売している。農業祭については、R3はコロナにより一時中止。
564	国際学院埼玉短期大学	埼玉教育コラボレーション協定による講師派遣	平成25年度	自治体（行政）			R3はコロナにより一時中止
565	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。
566	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和3年度はコロナにより一時中止。
567	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようになるための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立鷲宮高等学校：6月・製菓実習、国際学院中学校高等学校：7月保育基礎
568	国際学院埼玉短期大学	さいたま市給水スポット実証実験	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		学内に設置する給水スポットをはじめ市内の給水スポットを、学生がマイボトルを使って利用することで、プラスチックごみの削減を推進する産学官連携の取り組み。給水スポットの利便性や普及への課題を抽出し、解決策を検討することを目的とした実証実験に参画。
569	国際学院埼玉短期大学	短期大学生のためのキャリア形成講座	平成22年度	国（国立女性教育会館）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）		「生涯を通じたキャリア形成の考え方」について学ぶとともに、他大学の学生との交流や討議等を通じて、人と人との関わり合いの基礎や多様性（ダイバーシティ）を認め合う意識の涵養を目的として毎年行っている。令和3年度はコロナにより一時中止となった。
570	国際学院埼玉短期大学	就職問題研究協議会	昭和63年度	国・自治体（行政）（埼玉労働局）（埼玉県労働商工部）	公共団体（埼玉県雇用対策協議会）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）	埼玉県内私立短期大学に在学する学生の就職支援の向上・充実を図ることを目的に毎年、春・秋の年2回、研究協議会を開催しており、令和3年度についても実施した。
571	国際学院埼玉短期大学	埼玉県高等学校進路指導研究会との連絡協議会	昭和63年度	高等学校の協会（埼玉県高等学校進路指導研究会）	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）		県内短期大学の教育内容の理解、及び県内高校生の自県内短期大学への進学率の向上等を図るため毎年研究協議会を開催している。令和3年度は計画したものの、コロナにより一時中止した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
572	埼玉医科大学短期大学	高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			・本来であれば、協定校3校の高校生に対して、看護に関する学習の機会を設け、大学及び看護への関心を高めることを目的とした高校大学連携事業を計画するが、令和3年度（2021年）は新型コロナウイルス感染防止の為、実施しなかった。 ・高等学校と短期大学教職員間における情報交換を本学職員が協定校を訪問して実施し、教育上の情報交換を行った。
573	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体（行政）	その他		「R3はコロナにより一時中止」 ・新型コロナウイルス感染症予防から令和3年度（2021年）遙光祭（学園祭）はオンライン開催とした。よって市民公開講座は、外部の方を招待できないことから中止。
574	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		・埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」については、令和3年10月14日に2コマ講座参加申し込みの案内をしたが、希望する高等学校および高校生がなく、実施しなかった。
575	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
576	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体（行政）	その他		R3年度コロナにより中止
577	埼玉純真短期大学	特別支援教育（発達障害）研究セミナー	平成23年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	R3年度コロナにより中止
578	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	第11期子ども大学はにゅうを8月19日（木）に開校した。 参加者：羽生市内小学生4年生～6年生14名
579	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 主な実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣 など
580	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 主な実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生（オンライン） ③ 保育施設等のお手伝いなど
581	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		11月17日（水）に本学にて開催
582	埼玉純真短期大学	地元小学生（2年生）の学校見学		幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		11月10日（水）に本学にて開催
583	埼玉純真短期大学	クリスマス・ファミリー・コンサート	平成25年度	自治体（行政）	その他		R3年度コロナにより中止
584	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
585	埼玉純真短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		R3年度コロナにより中止
586	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校 3回 進修館高等学校 2回
587	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		11月3日（水）文化の日に本学にて開催 参加者：羽生市・加須市・行田市から8名
588	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより協定に基づく事業中止。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
589	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより協定に基づく事業中止。
590	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力協定	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			ものづくり大学との共同研究として、埼玉純真短期大学施設内のキッズハウスプロジェクトを行った。
591	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携で生徒に本学教員の講座(出前授業と来学授業)を行った。
592	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携で生徒に本学教員の講座(出前授業)を行った。
593	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			R3年度コロナにより協定に基づく事業中止。
594	埼玉純真短期大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力協定	令和2年度	自治体（行政）・商工会議所・商工会・大学			定例会議を行っている。この団体の名称を彩北未来プロジェクトとした。
595	埼玉女子短期大学	子ども大学ひだか	平成29年度	自治体（行政）			地域の大学や企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。 R3年度コロナにより中止。
596	埼玉女子短期大学	日高市 ひ・まわり探検隊	平成25年度	自治体（行政）			市内の小学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることを目的とし、「ひ」だか市内を隅々まで「まわり」探検する。 学生がスタッフとして参加。
597	埼玉女子短期大学	日高市 日高塾	平成30年度	自治体（行政）			市内6つの小学校区で月1回の土曜日に4年生から6年生までを対象として、基礎学力の向上、学習習慣の定着化、地域の方との交流を図ることを目的としている。 学生がスタッフとして参加。
598	埼玉女子短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）			、埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携する、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。
599	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体（行政）			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性（講義）、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 （隔年開催のため令和3年度は実施せず。なお、令和2年度はコロナにより中止した）
600	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体（行政）			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」（現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」）を開講している。内容は、小学生（4年～6年生）を対象とした、保育士体験プログラム（手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践）となる。毎回、近隣の保育園に出向き、参加者が保育士（先生）役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。 令和3年度は夏季は実施できたが、コロナにより冬季は中止した。
601	埼玉東萌短期大学	かがくわくわくひろば	令和元年度	自治体（行政）			越谷市科学技術体験センター ミラクルにおいて実施。 学生を中心に作り上げた科学的な要素を取り入れた保育ショーである。学生参加者は14名。教員は4名が指導を行った。保育ショーの内容は、紙芝居、創作劇、マジック、子どもたちが楽しめる科学的な実験動画など取り入れ、最後には、「虹」という曲を歌いながら、手話を取り入れた。地域の親子が88名参加した。
602	埼玉東萌短期大学	布絵本づくり	令和2年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			越谷市社会福祉協議会のボランティアサークルとの共同活動（布絵本づくり）を行っている。興味のある学生に絵を描いてもらい、その絵をもとにして、サークル「手づくりの会」が布絵本を作成している。出来上がったものは、地域の図書館に提供し、地域の親子に楽しんでいただいている。
603	埼玉東萌短期大学	「はぐくみ」おはなし会	令和2年度	産業界（企業等）			あそびパークPLUS（イオンレイクタウン店）でのおはなし会は、月に1回のペースで地域の親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行うボランティアである。令和3年度はコロナにより中止した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
604	埼玉東萌短期大学	「はぐくみ」おはなし会	令和2年度	産業界（企業等）			柏の葉T-SITE 柏の葉蔦屋書店でのおはなし会は、月に1回のペースで地域の親子に向けて、紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行うボランティアである。令和3年度は回数を減らして実施し、造形のワークショップも実施した。
605	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
606	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等
607	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界（企業等）			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
608	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	自治体（行政）			東松山市、鳩山町、川島町へ講演、実技指導の講師派遣。
609	武蔵丘短期大学	県内の高等学校との事業	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			主に高大連携協定校などへ教員が講演や模擬授業などを実施している。
610	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			R3年度コロナにより中止
611	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みを5月から7月にかけて全9回・18講座を実施している。 令和3年度は6校と学校間連携協定書を締結し、協定校では単位互換制度を利用している。また協定校のみならず、近隣の高等学校に向けても広報活動を行い、希望する高校生が受講できるようにしている。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、私立日々輝学園高等学校東京校
612	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携して、ものごとの原理やしぐみ追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
613	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは？～地域の子育て環境を豊かに～
614	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体（行政）	その他		埼玉ピースミュージアム；紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学；認知症サポーター養成講座、はとやまワークショップDAY 鳩山町；はとやま祭、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健寿まつり 東松山市；リレー講座、まちおこしランチパック開発プロジェクト 坂戸児童センター；こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町；七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館；イベント手伝い
615	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア等）		山村学園短期大学；子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園 遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校；鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院；チャリティコンサート ひばり保育園；ひばりっこスキーキャンプ おおやま福祉作業所；利用者誘導、イベント手伝い 富士見すくすく保育園ナーサリースクールSUKUSUKU；お誕生日会イベント 埼玉県こども動物自然公園内こどもの城；絵本の読み聞かせ（毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和3年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先 1	連携先 2	連携先 3	事業内容
616	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		鳩山町；「保育ボランティア養成講座」 東松山市；「リレー講座 絵が語る 言葉が魅せる 心が踊る」 飯能高校；「ダンスにトライ！」 鳩山高校；「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコーキ」 川越西高校；「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校；「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校；「絵本とプチシアター」
617	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習（下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等）を実施。
618	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぽっぽ」	平成20年度	自治体（行政）			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー（仮装あそび）、クリスマスコンサート等を実施している。
619	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4～6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
620	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体（行政）			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1～3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちとの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
621	山村学園短期大学	東松山市まちなかりノベーション	平成30年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者を呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを目指す。本学は平成30年度より参加している。
622	山村学園短期大学	比企地域大学等連携協議会 (Dear my net)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		東松山市と近隣の5大学が連携し、地域の活性化を図ることを目的に活動している。リレー講座、ランチパック開発プロジェクト等を実施している。日本スリーデーマーチでのクリーンウォーク（ごみ拾い）も計画していたが、今年度は台風による被災によりイベントそのものが中止となった。
623	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
624	山村学園短期大学	東松山ぼたん園まつり	令和元年度	自治体（行政）			ぼたん園にて「親子で水遊び」イベントの補助ボランティアとして3名参加
625	山村学園短期大学	埼玉ピースミュージアム 紙芝居読み聞かせ会	令和元年度	自治体（行政）			埼玉ピースミュージアム講堂にて11月14日学生5名による紙芝居の読み聞かせを行った。
626	山村学園短期大学	埼玉県こども動物自然公園	令和元年度	自治体（行政）			「こどもの城DAY絵本の読み聞かせ」として5名の学生による絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアターなどの上演を行った。
627	山村学園短期大学	毛呂山町児童館まつり	令和元年度	自治体（行政）			児童館まつりでの段ボール迷路コーナーの補助、ダンス遊び披露など6名の学生が運営に参加した。
628	山村学園短期大学	吉見町親子アクティブプログラム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		吉見町と武蔵丘短期大学の年間を通じた親子でスポーツの基礎づくり・習慣の確立をめざしたプログラムのかけっこ教室（短距離編）へボランティアとして参加した。
629	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		TJUPによる「まなびのみちクリーンウォーク」への参加
630	山村学園短期大学	武蔵丘短期大学 山村学園短期大学公開講座	令和2年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		新型コロナウイルス感染予防をふまえた子どもの運動あそびとして、親子でふれあう歌あそびなどの運営等を行った。武蔵丘短期大学屋外にて実施。
631	山村学園短期大学	山村学園短期大学公開講座	令和3年度		自治体（行政）		「フラワー曼荼羅ぬり絵」～心理学の世界を体験してみよう～